





うん。

全然気付か  
なかつたね



でも、  
二人だけで  
会う場所が  
なくて...



ええっ！

えっ、  
言っちゃ  
うのか？

実は私達  
付き合っ  
てるのよ。



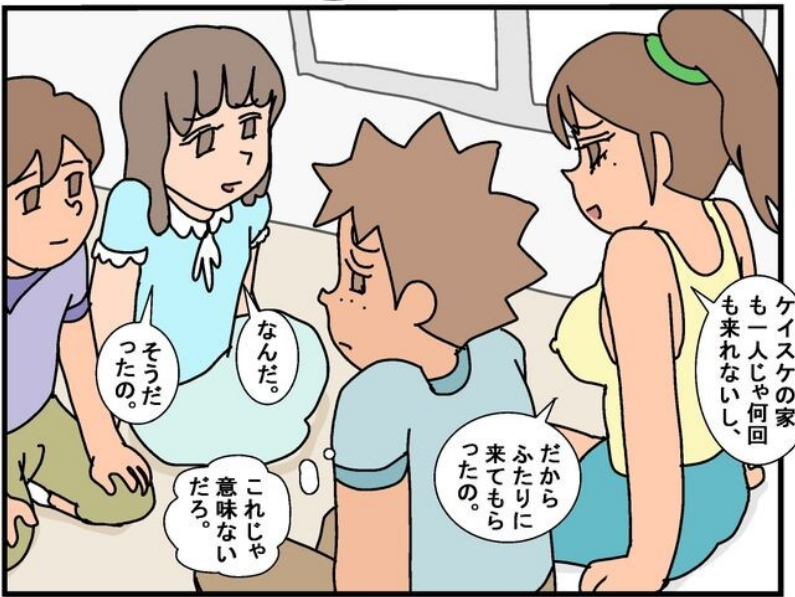
これから  
も協力し  
てくれる？

いいわよね。

うん。

どう？

...

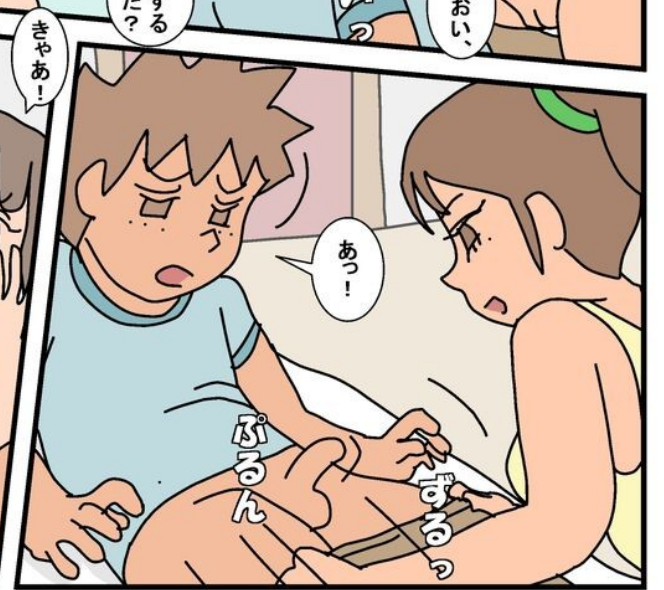
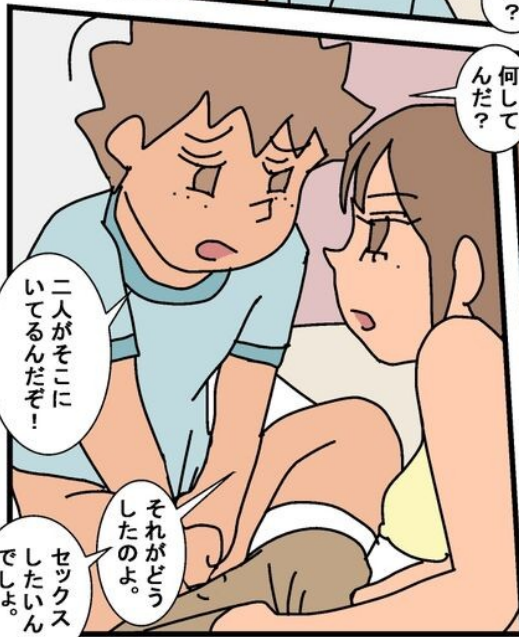
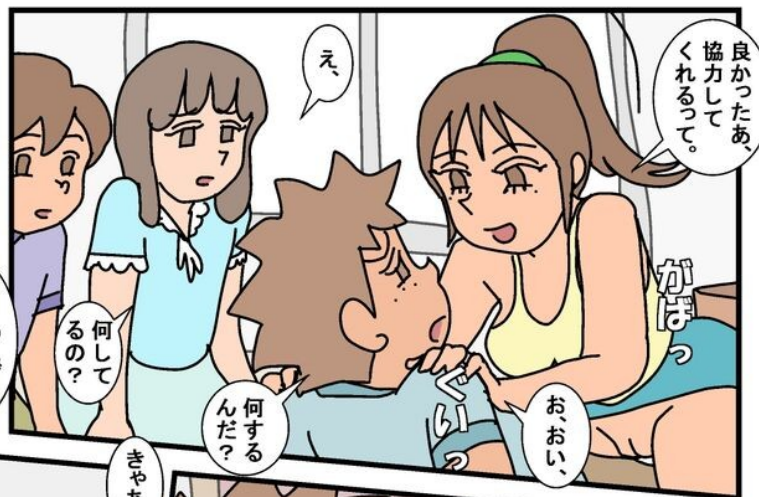
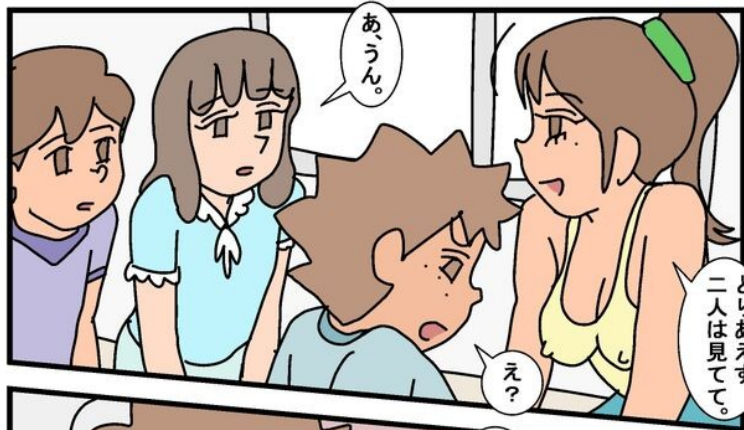


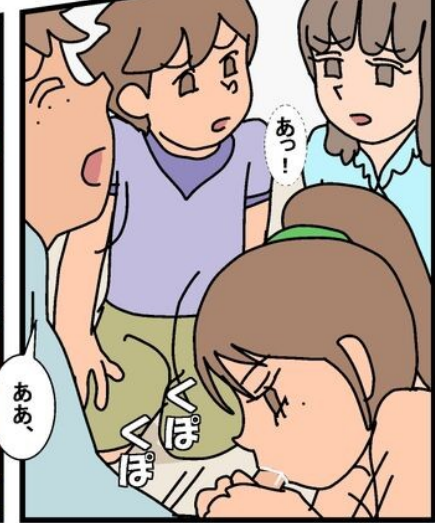
なんだ。  
そうだ  
つたの。

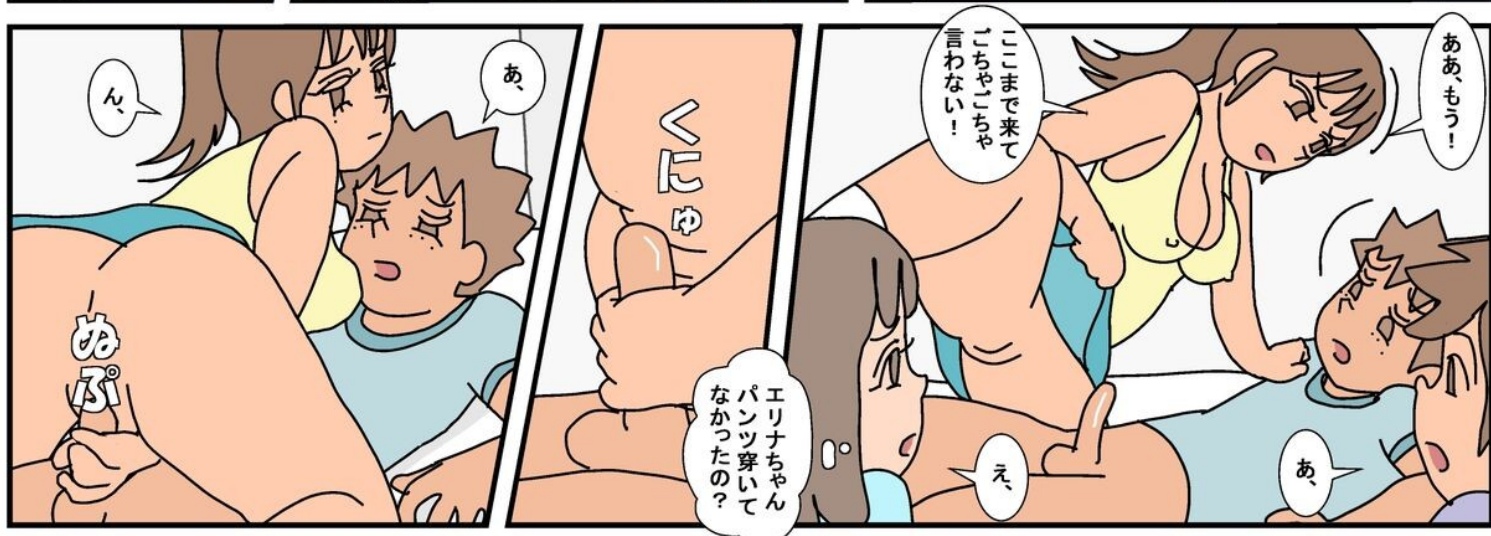
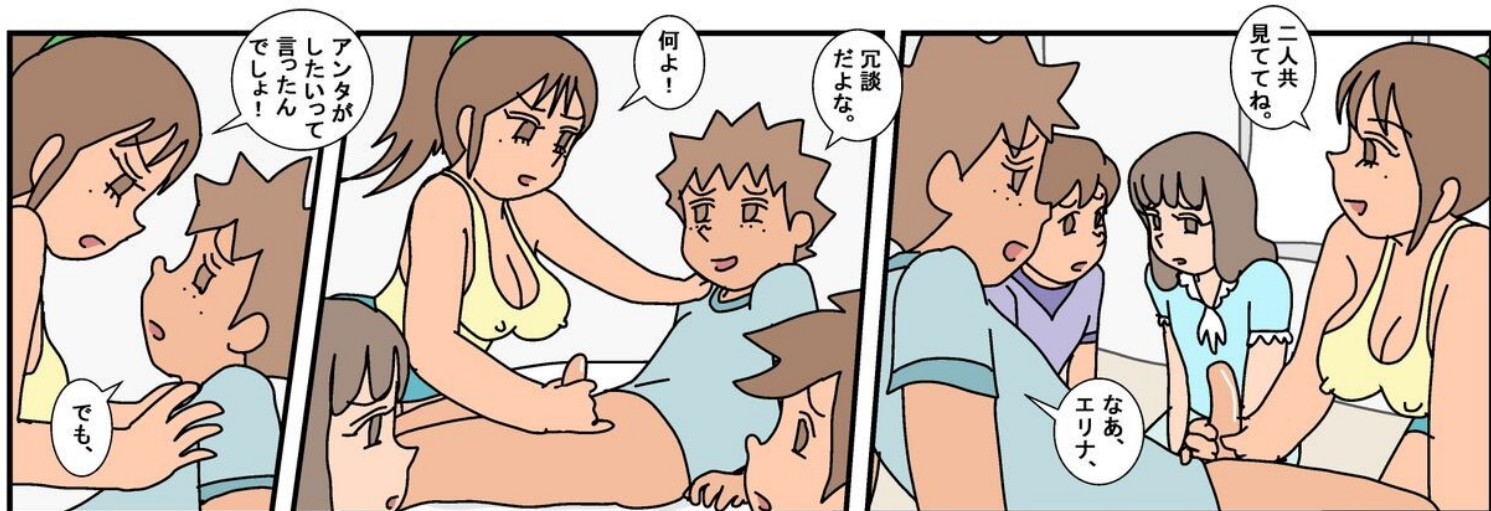
これじゃ  
意味ない  
だろ。

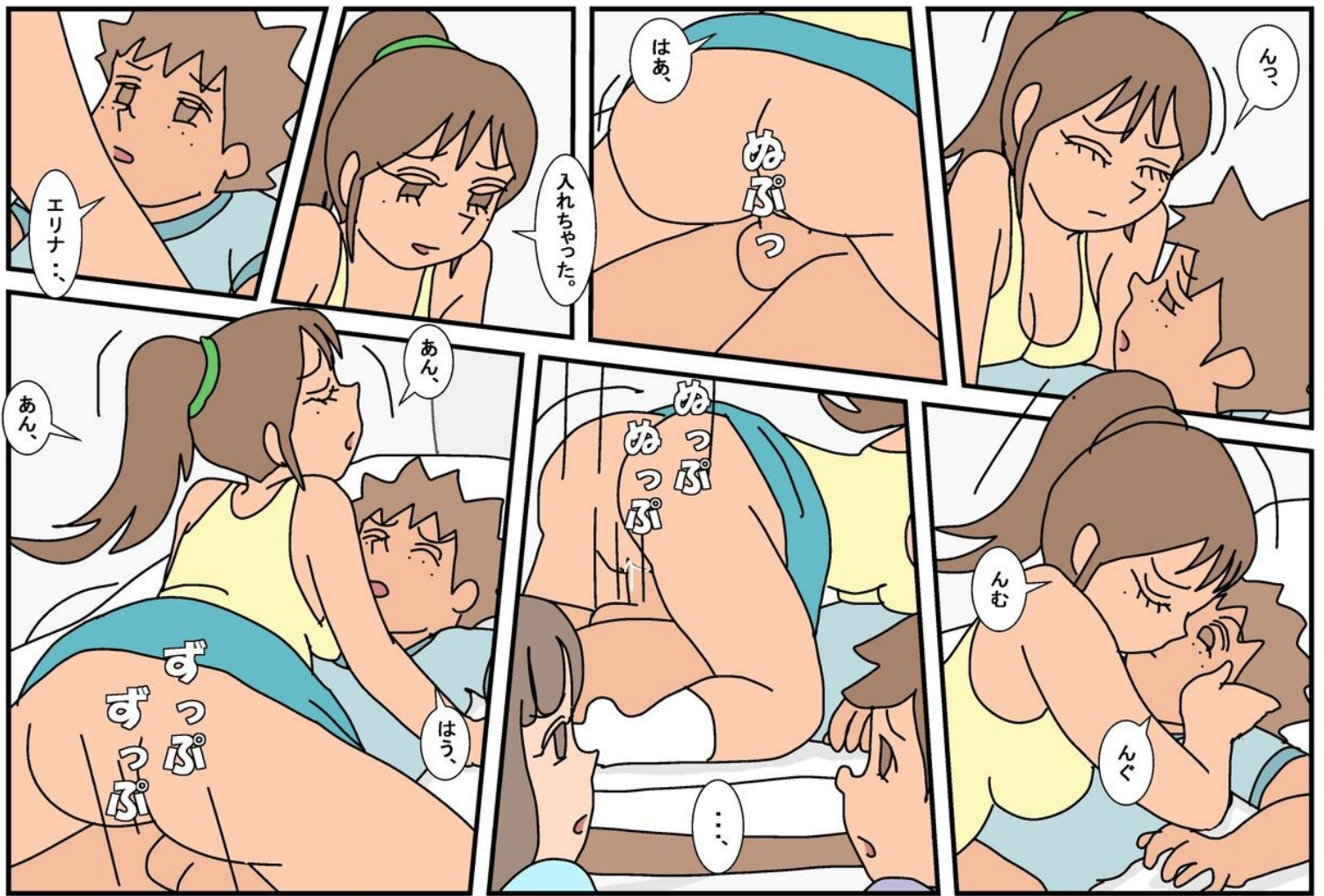
だから  
ふたりに  
来てもら  
つたの。

ケイスケの家  
も一人じゃ何回  
も来れないし、

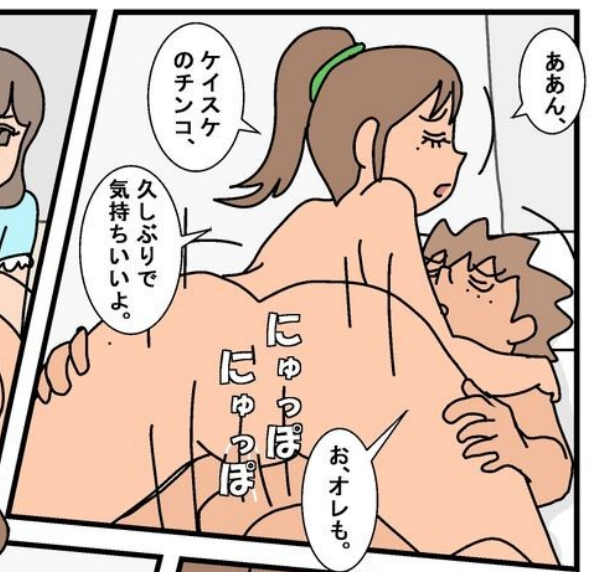


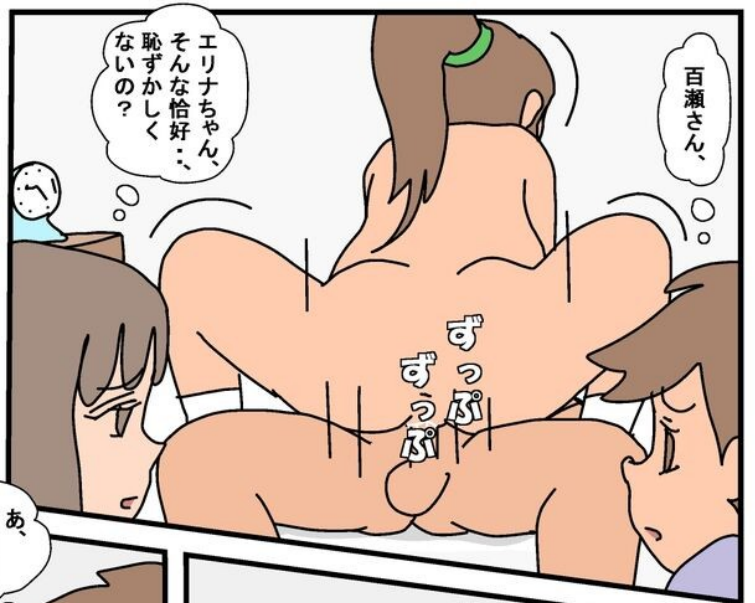


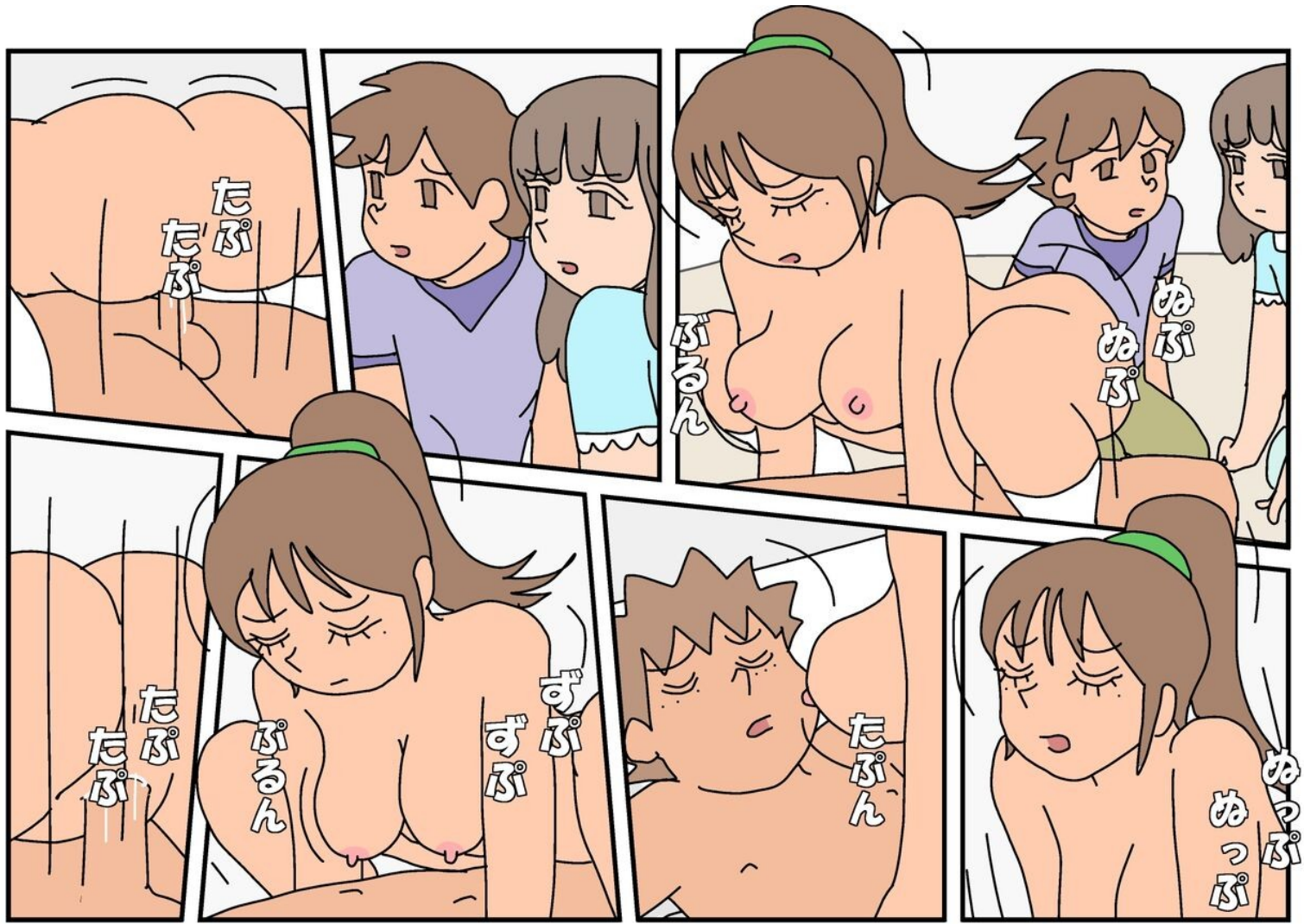


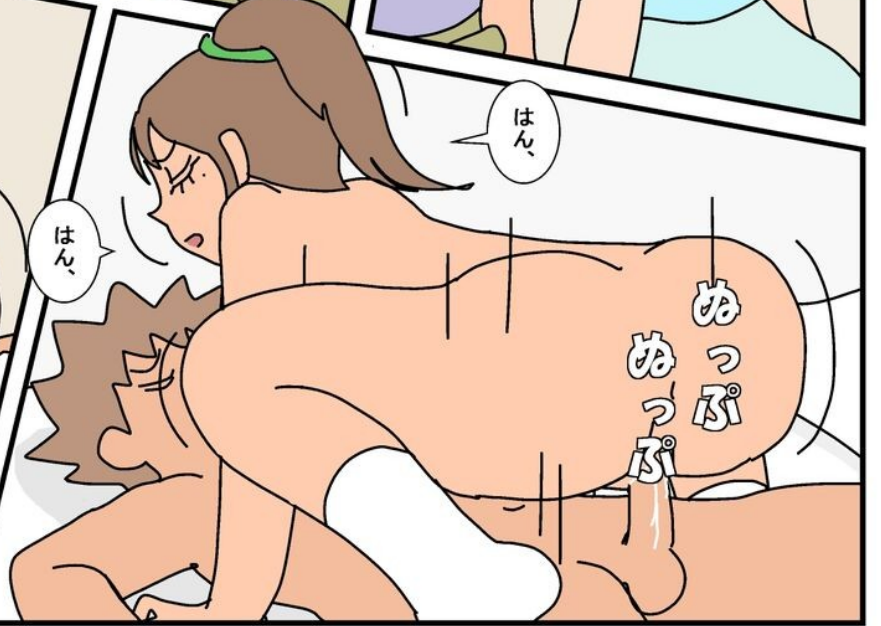


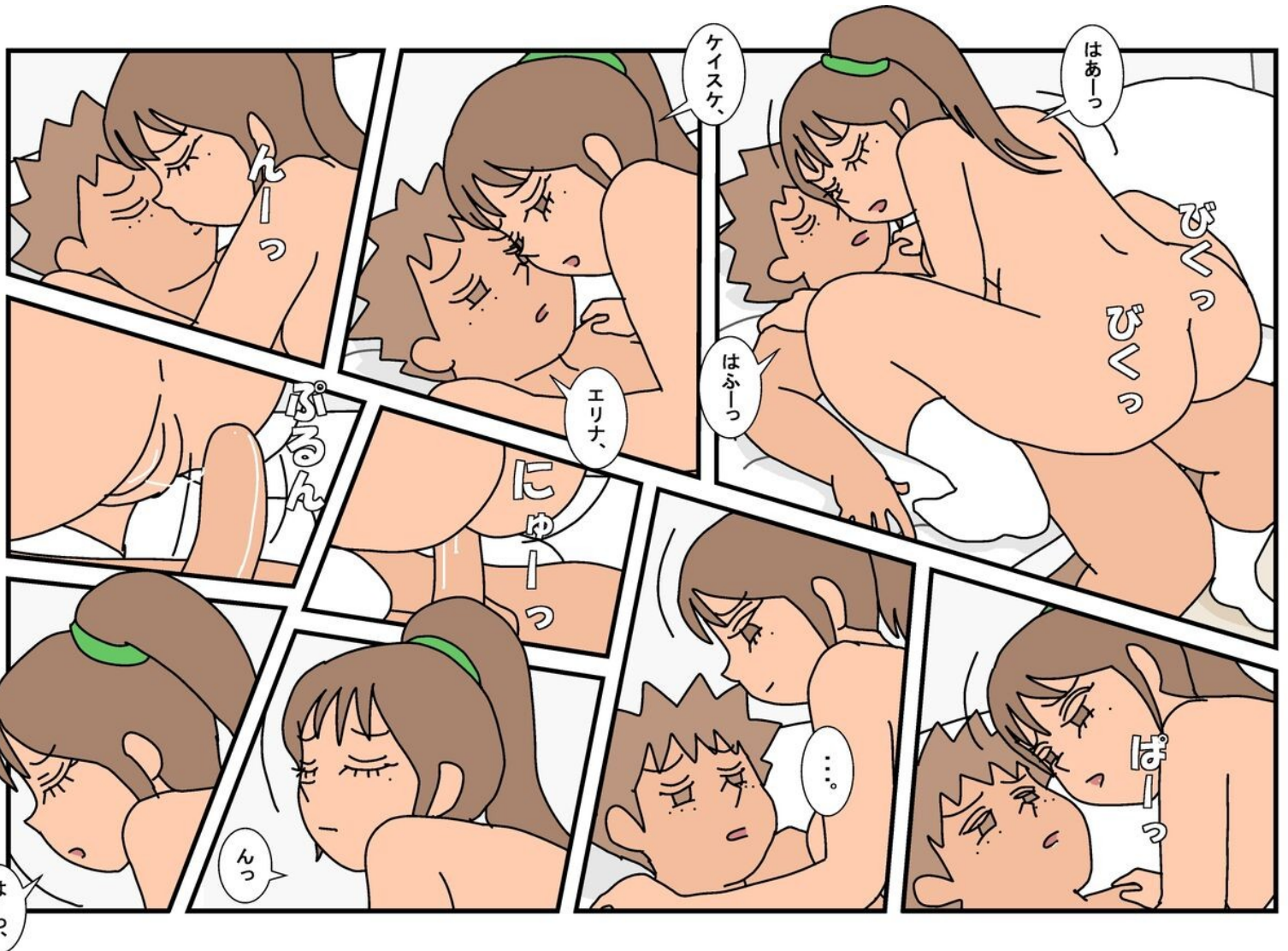


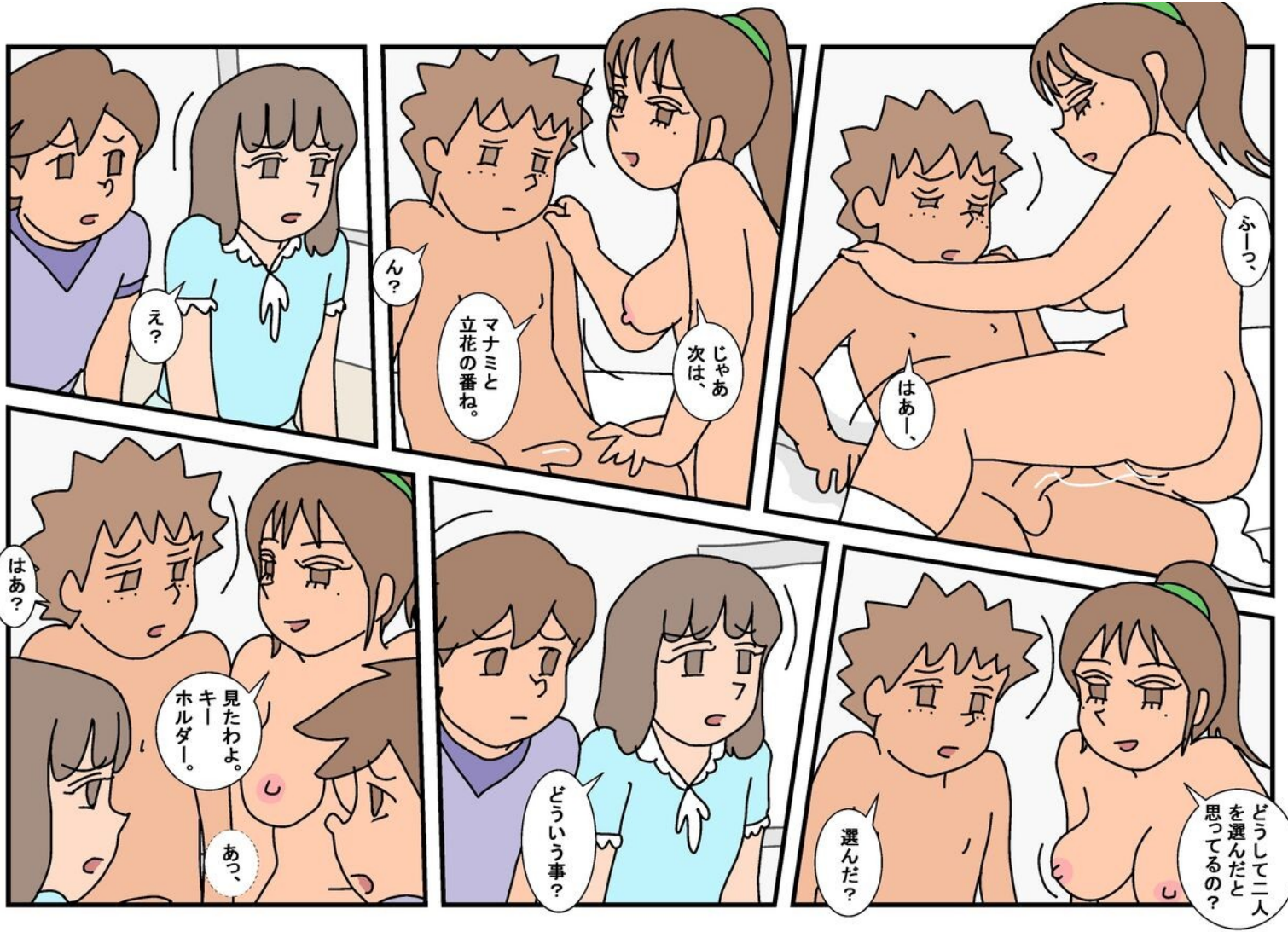


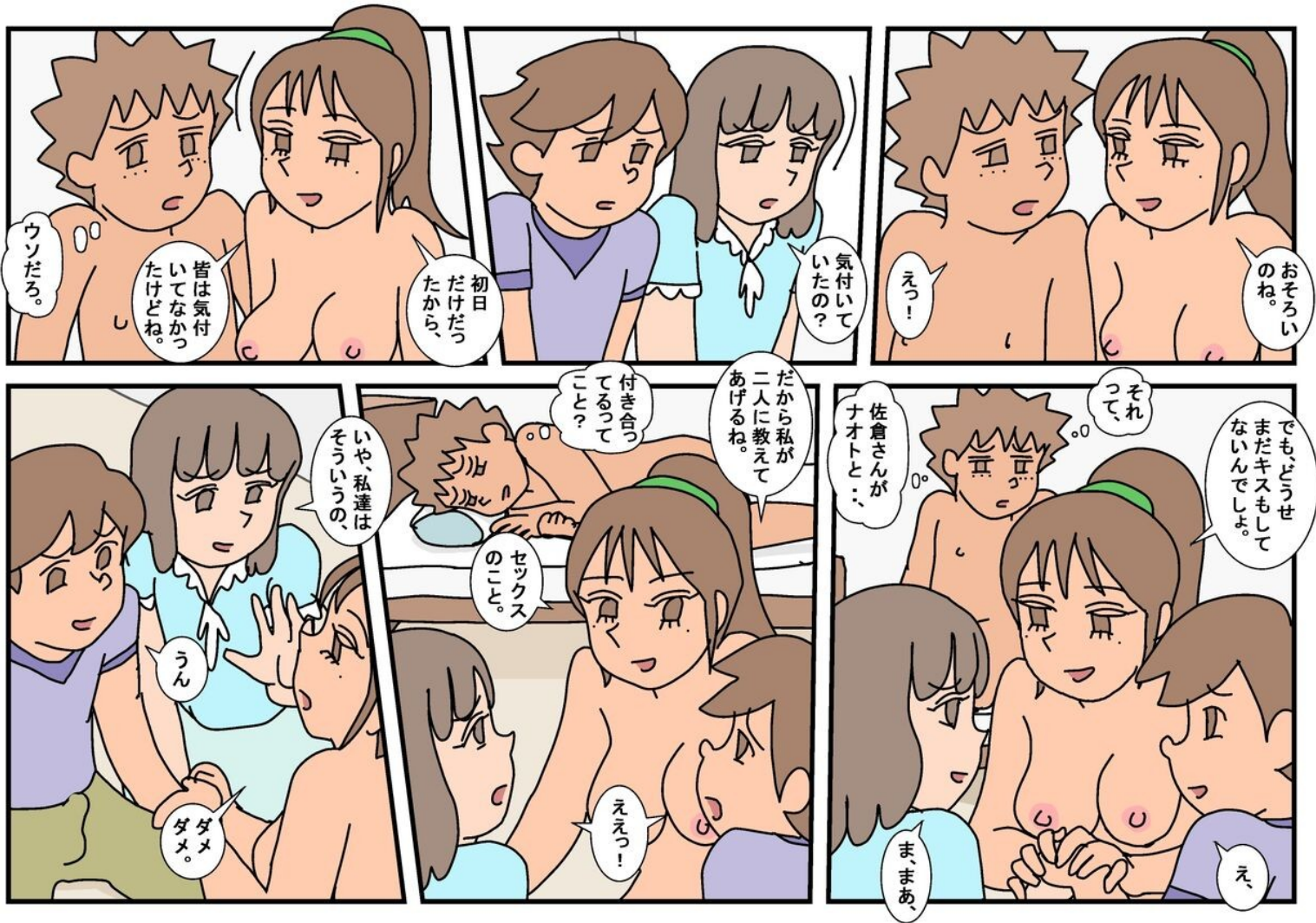








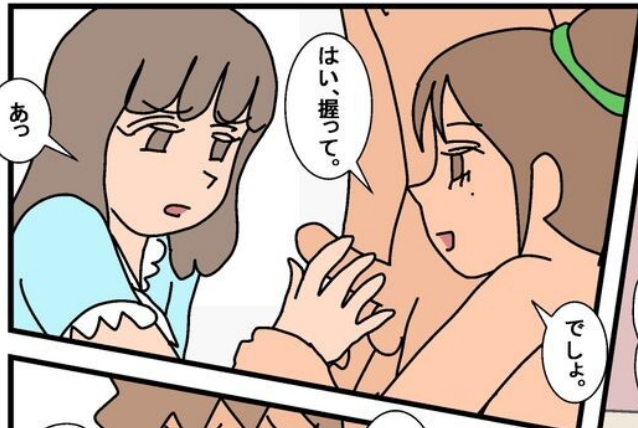


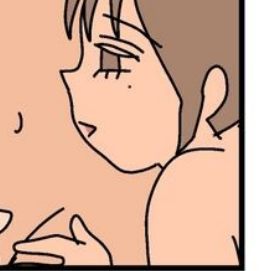












ロで??

じゃあ、  
今度は  
ロで、

あ、固く  
なってきた。

えっ!

まずはペロッ  
て舐めて。

ほっ、

次はチュ、

ちゅっ

そして  
パクッ

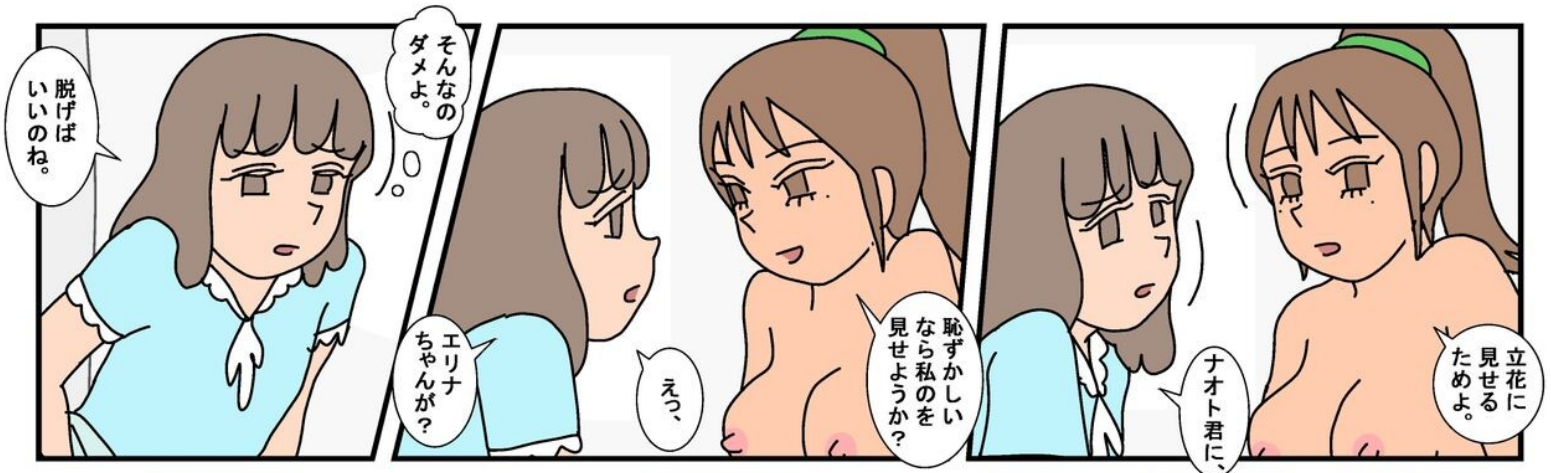
あ、

かぶ

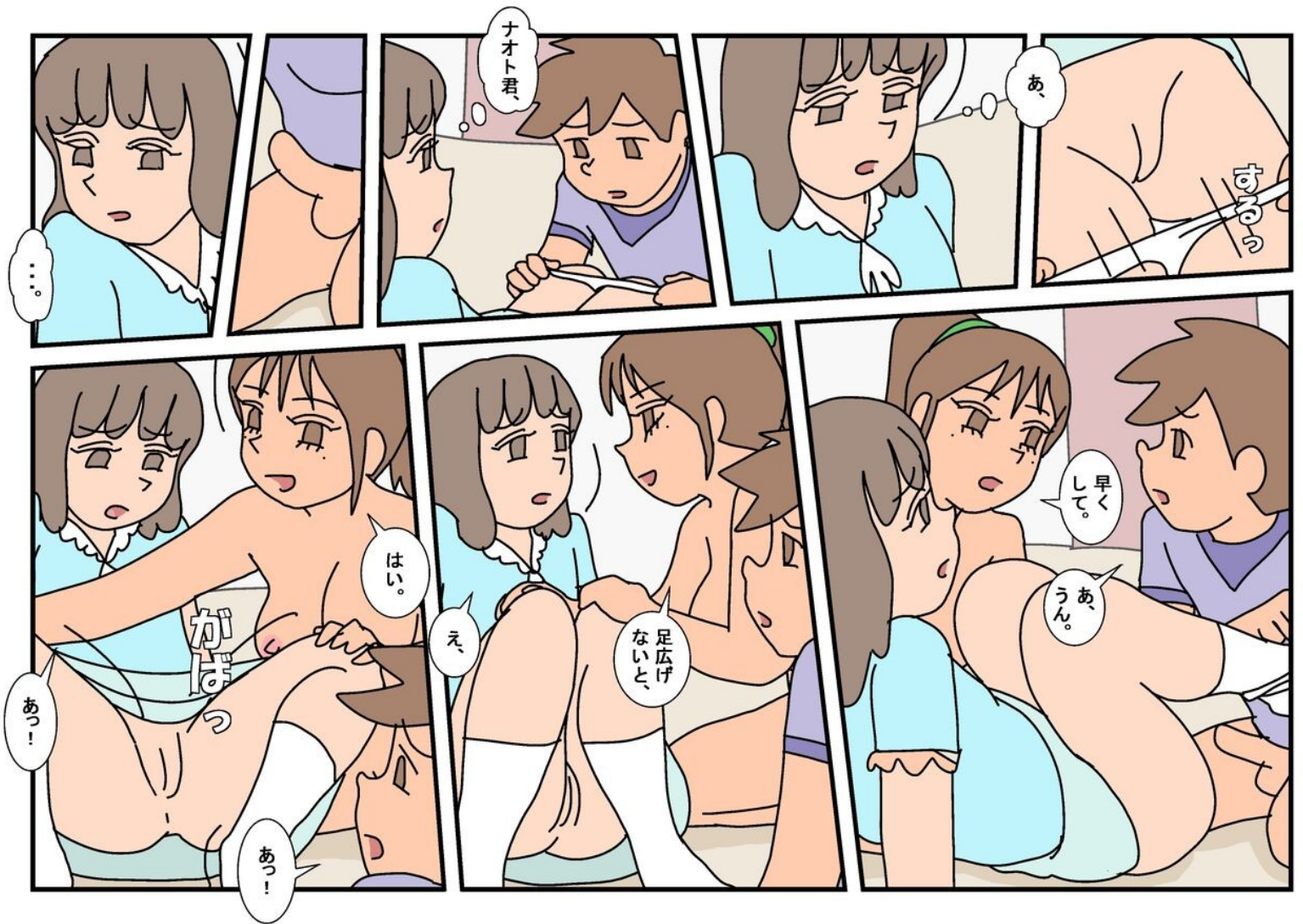
はあ、

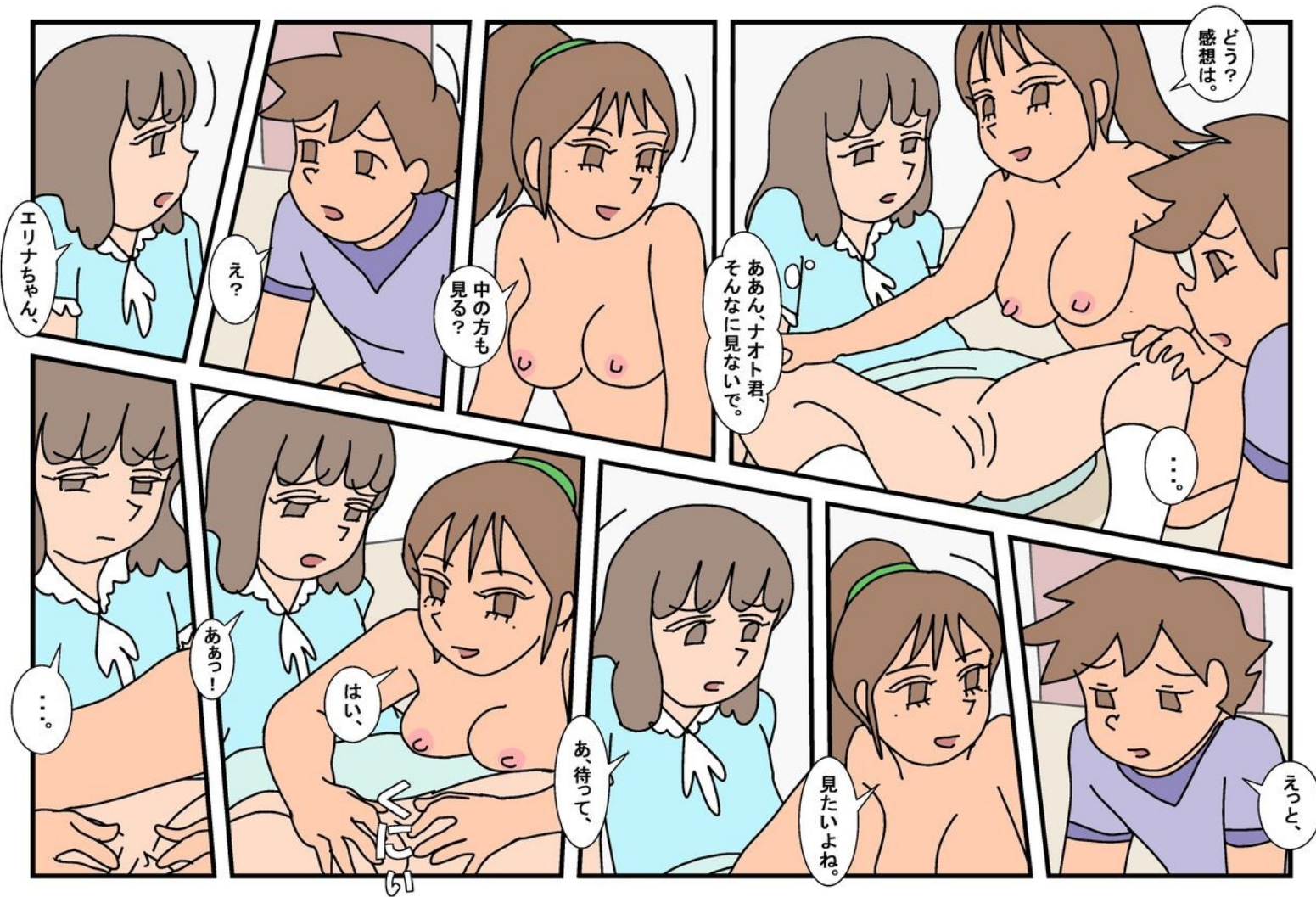












エリナちゃん、

え？

中の方も  
見る？

ああん、ナオト君、  
そんなに見ないで。

どっつ？  
感想は。

...

...

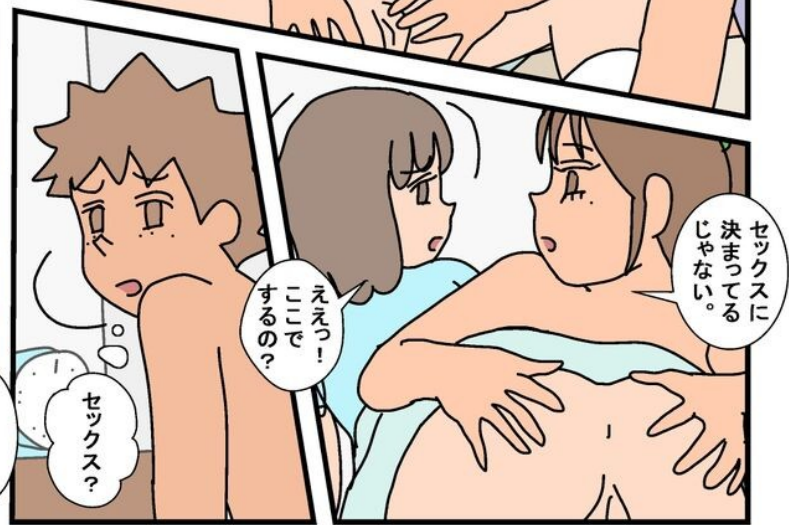
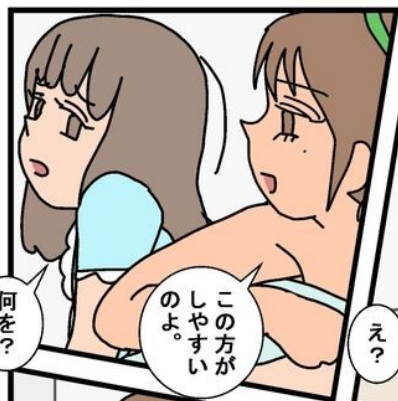
ああつ！

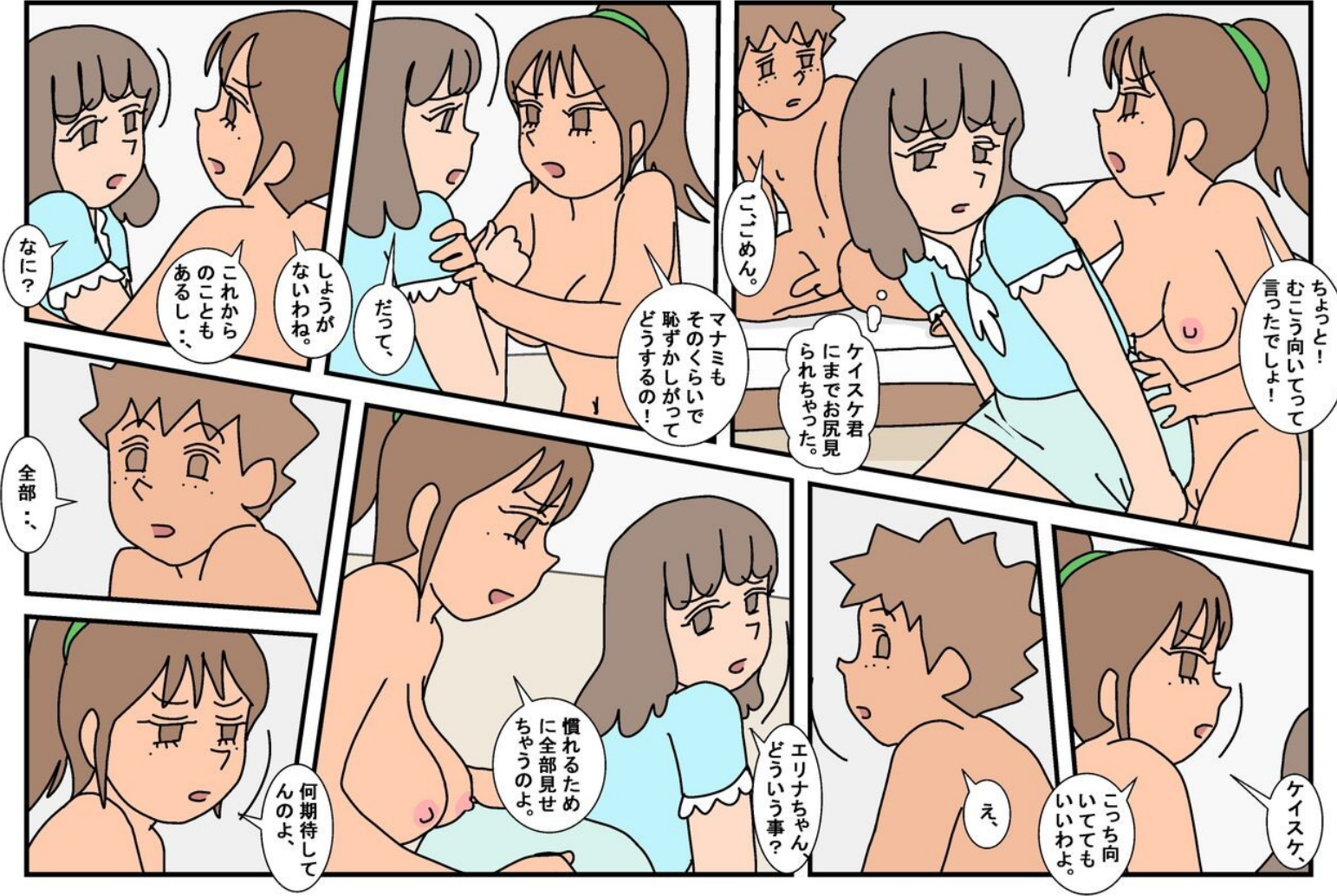
はい、

あ、待って、

見たいよね。

えっと、







じゃあ、さっきの続きするわよ。

見るだけだからね。

あ、いや。

セックスするところを見られるの？

え、

準備はいいみたいね。

はい、どうぞ。

いいわよ。

...

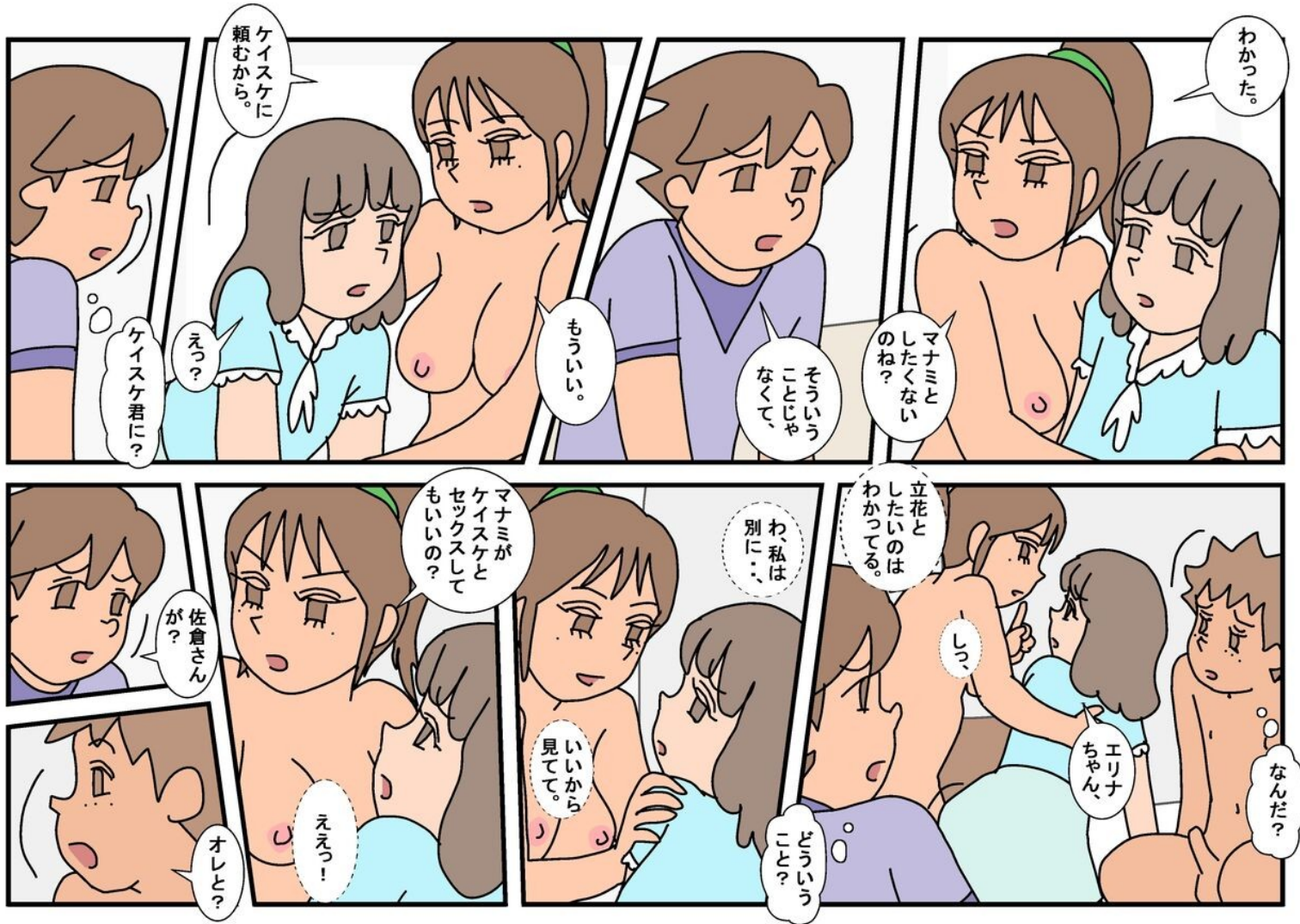
あっ！

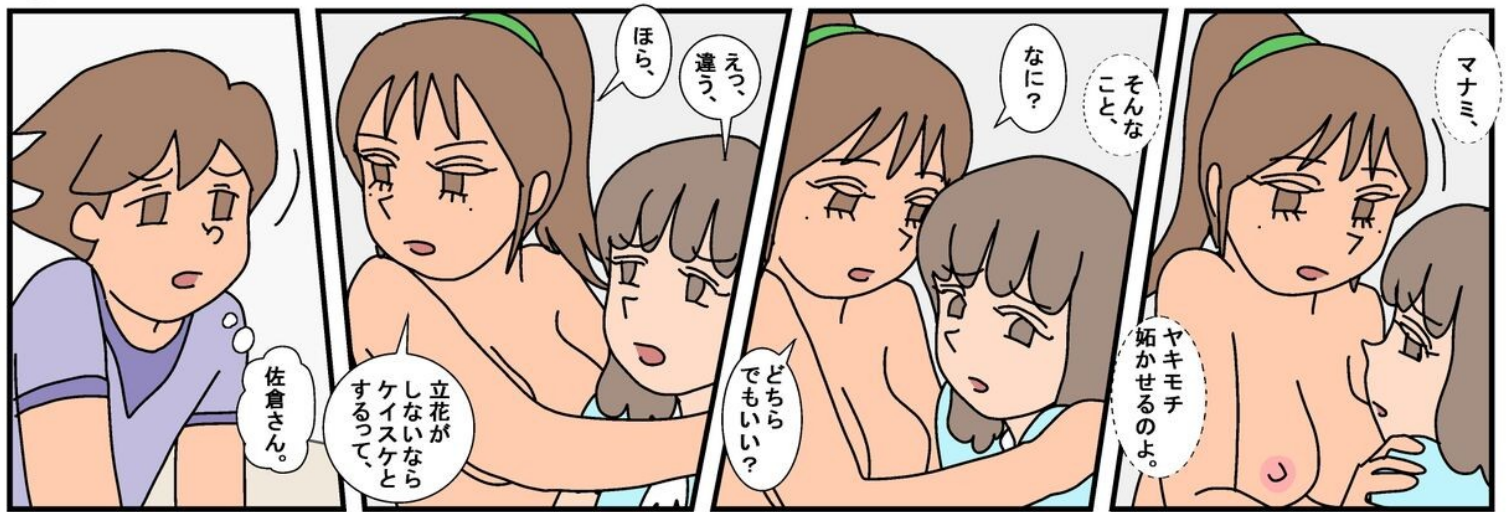
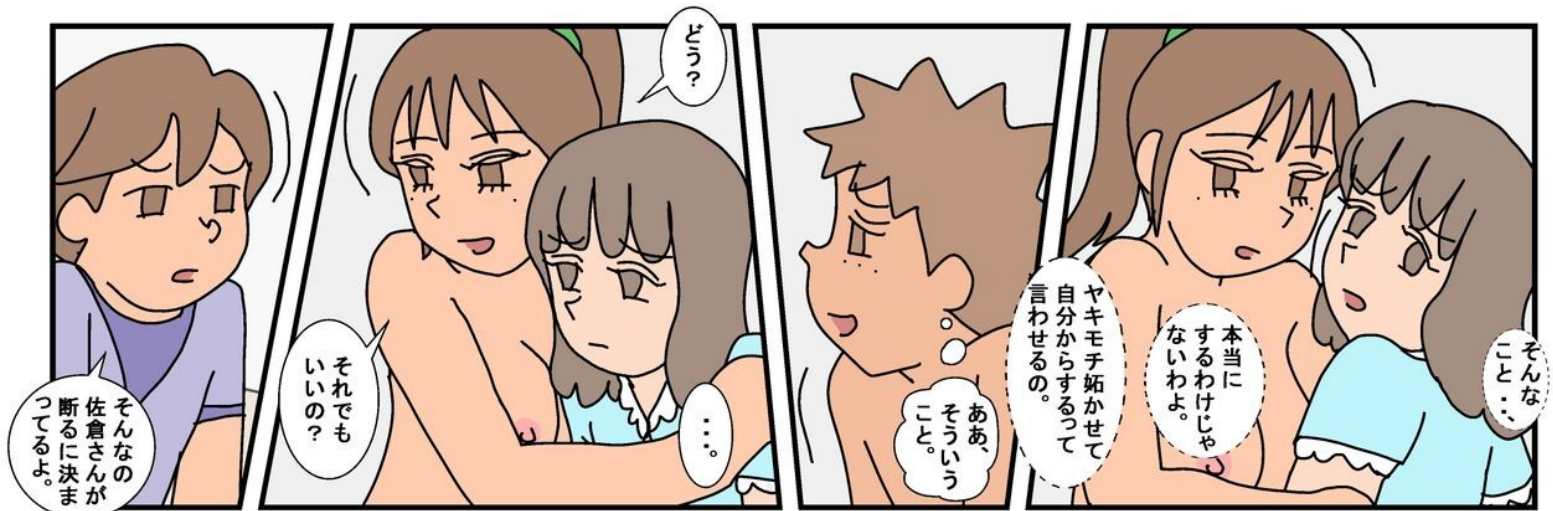
あ...

って言われても、











立花が  
するなら  
問題ないん  
だけど。

ほくでも  
ケイスケ君  
でもいい？

ナオト君

あれ？  
おかし  
わね。

ちよつと  
するの？  
しないの？

...

それはマナミが  
ケイスケとしても  
いいってことね。

じゃあ一回  
しちやおうか。

あともう  
少しよ。

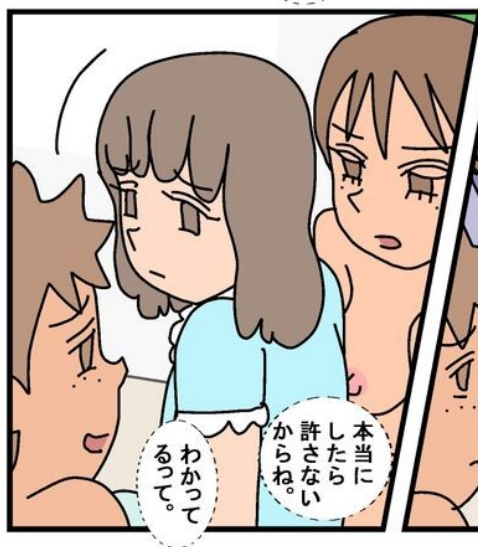
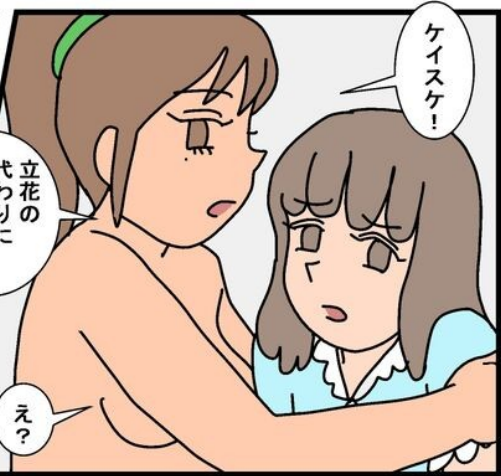
むっ

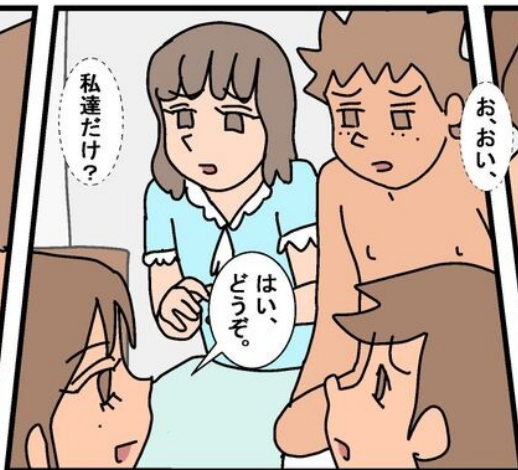
何、ウジウジ  
してるのよ。

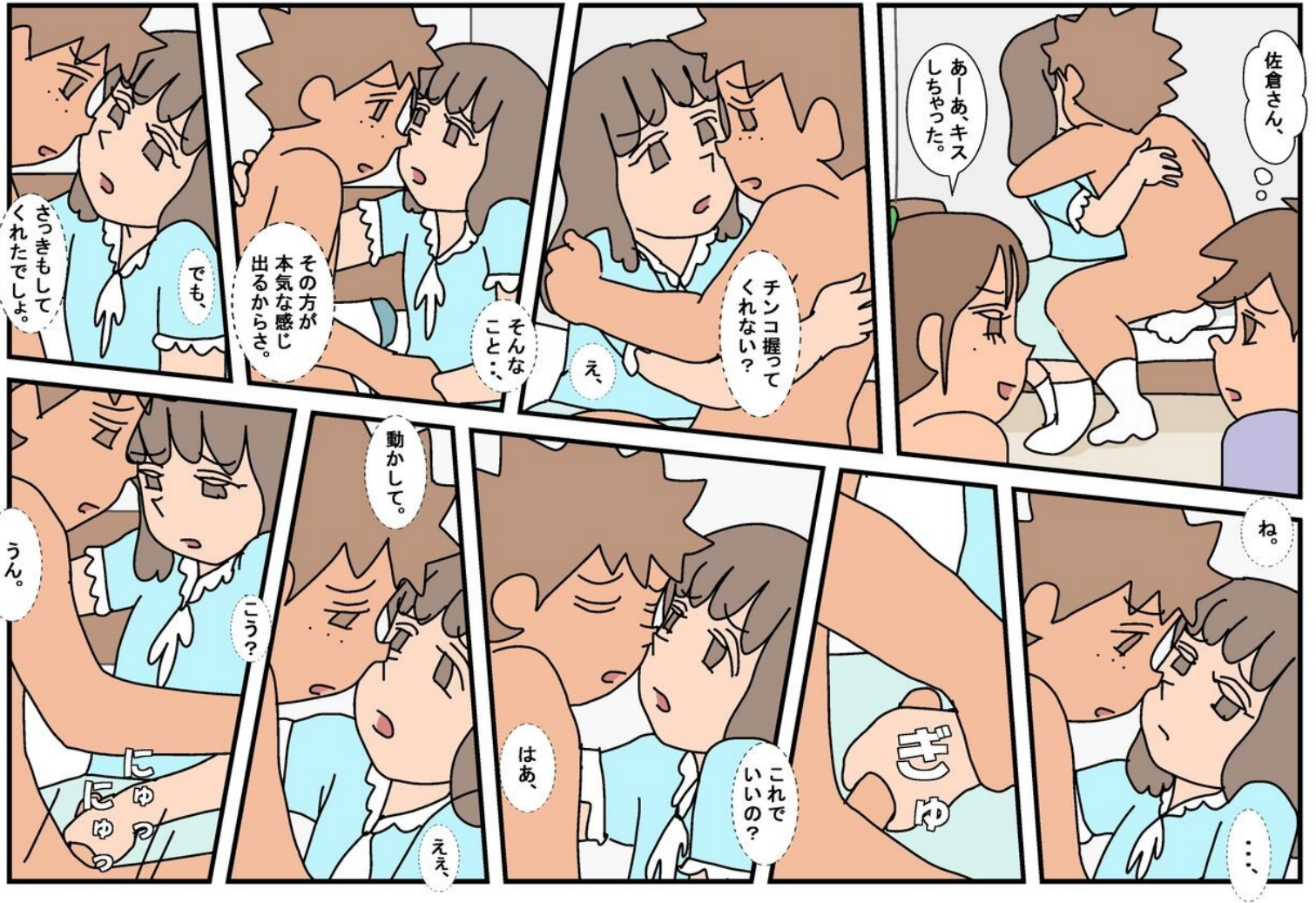
エリナ  
ちゃん

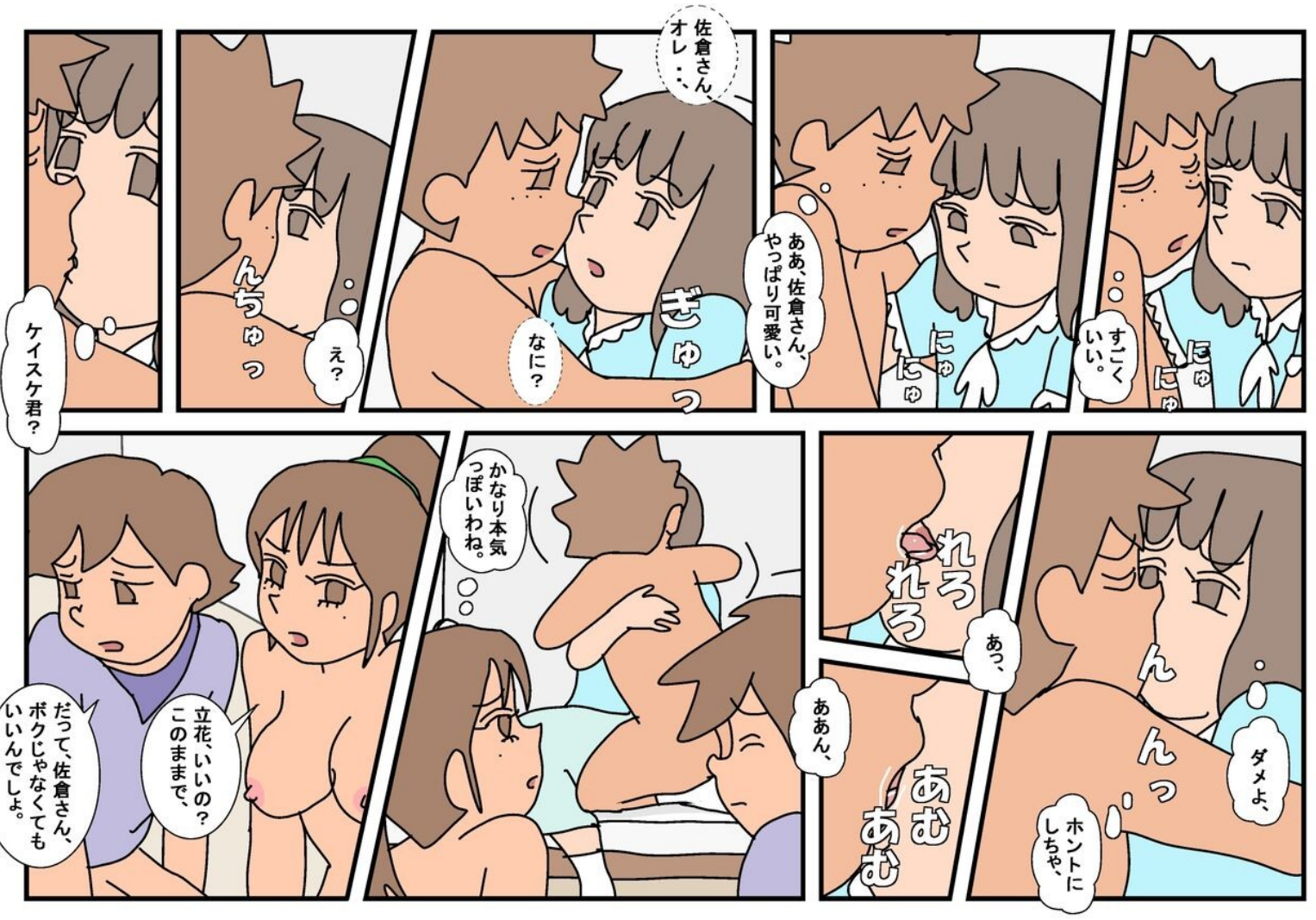
え

どう  
するの？









ケイスケ君?

んっ  
え?

佐倉さん  
オレ...  
なに?

ああ佐倉さん、  
やっぱり可愛い。  
すん  
ごう

んっ  
んっ

だっ、佐倉さん、  
ボクじゃなくても  
いいんですよ。  
立花、いいの?  
このままで、

かなり本気  
っぽいわね。  
あむ  
あむ

れろ  
れろ  
あ、  
ああん、

んっ  
んっ  
ダメよ、  
ホントに  
しちや、

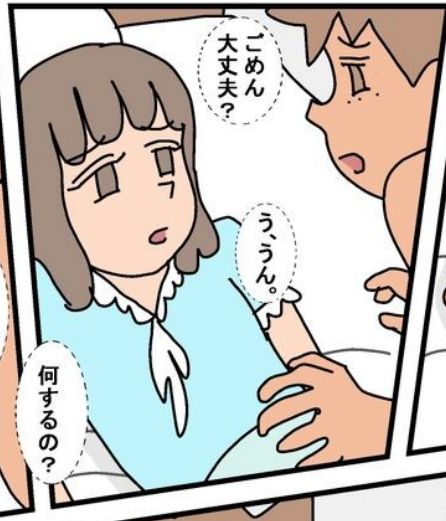




え？  
あつ！

あ

えーっと



ごめん  
大丈夫？

ううん。

何するの？



あん

ぽ



え

ナオトが  
見てるよ。



だって

ダメだよ。そんなの  
恥ずかしくてちや。

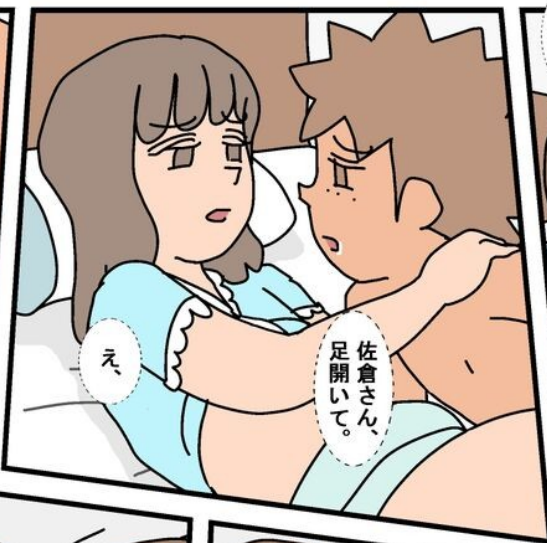
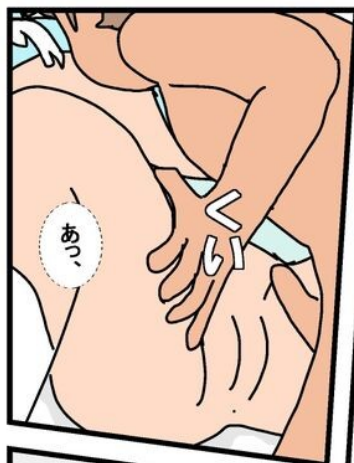


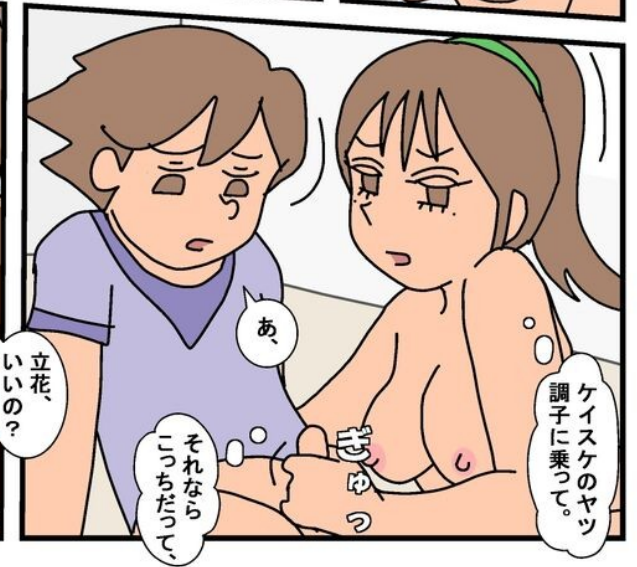
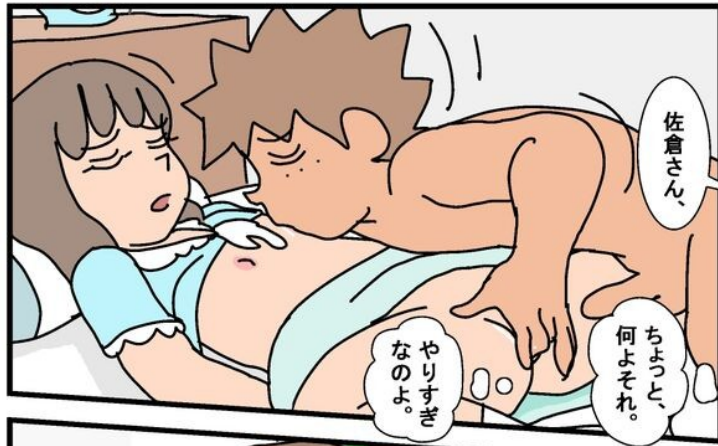
せ

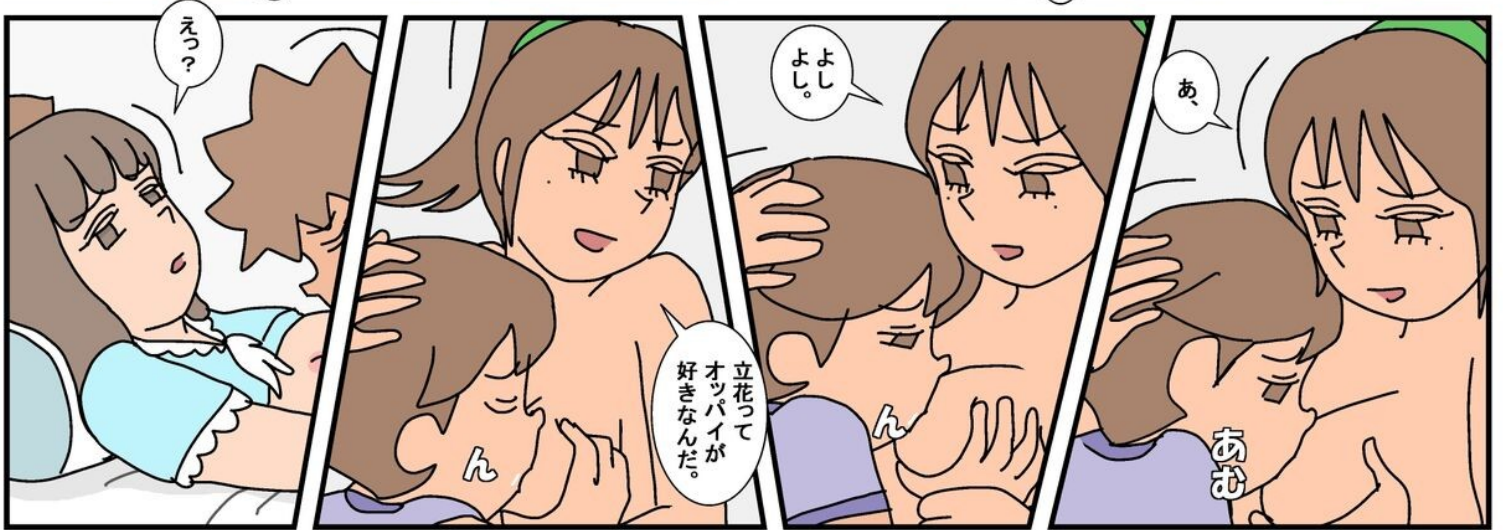
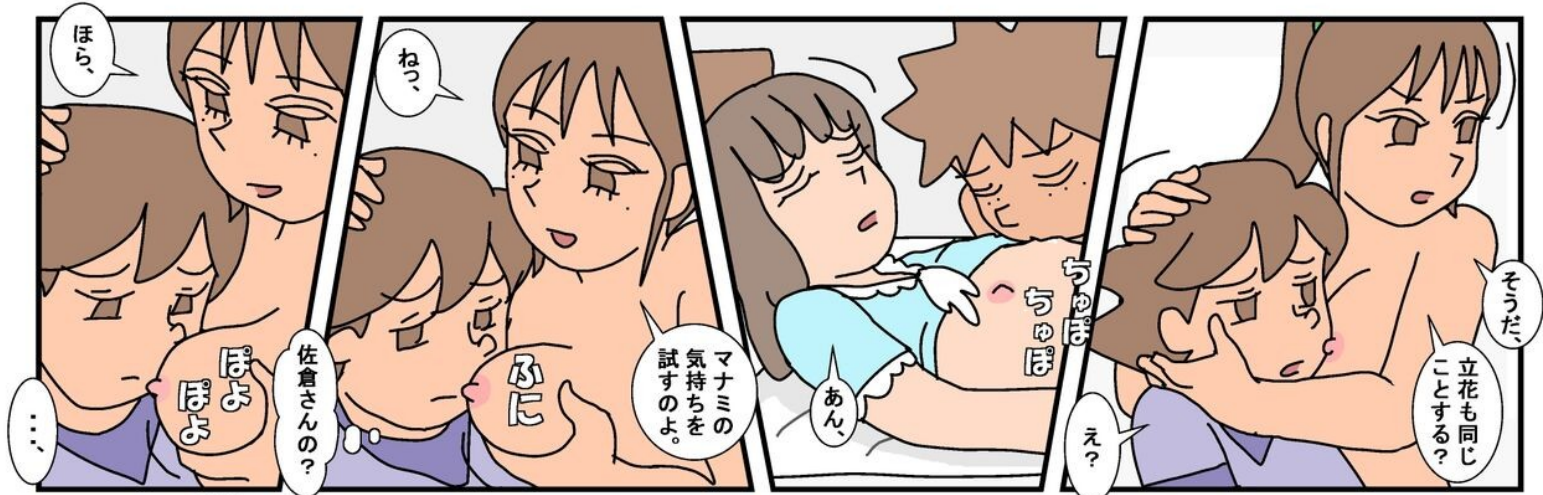
佐倉さん

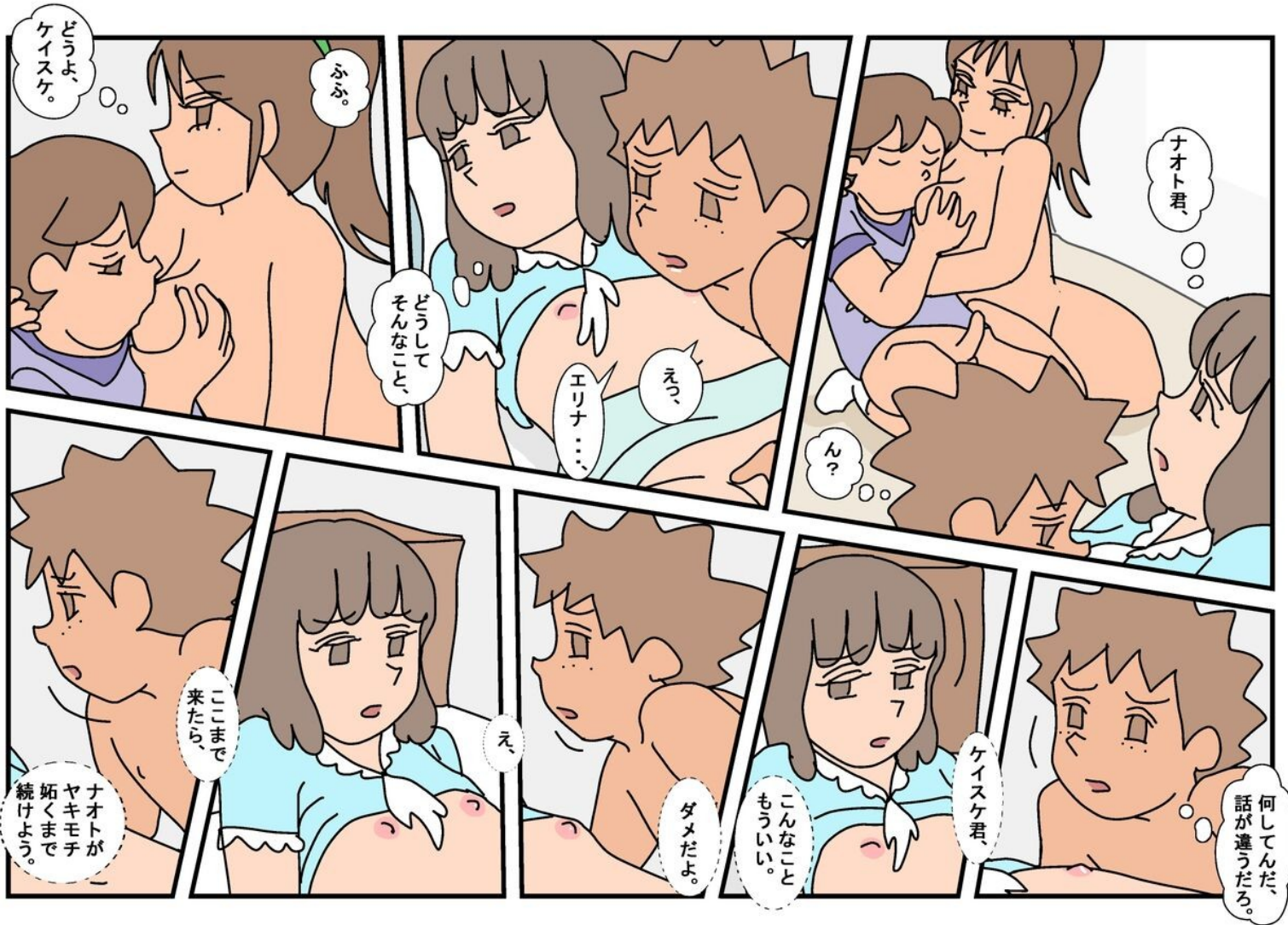






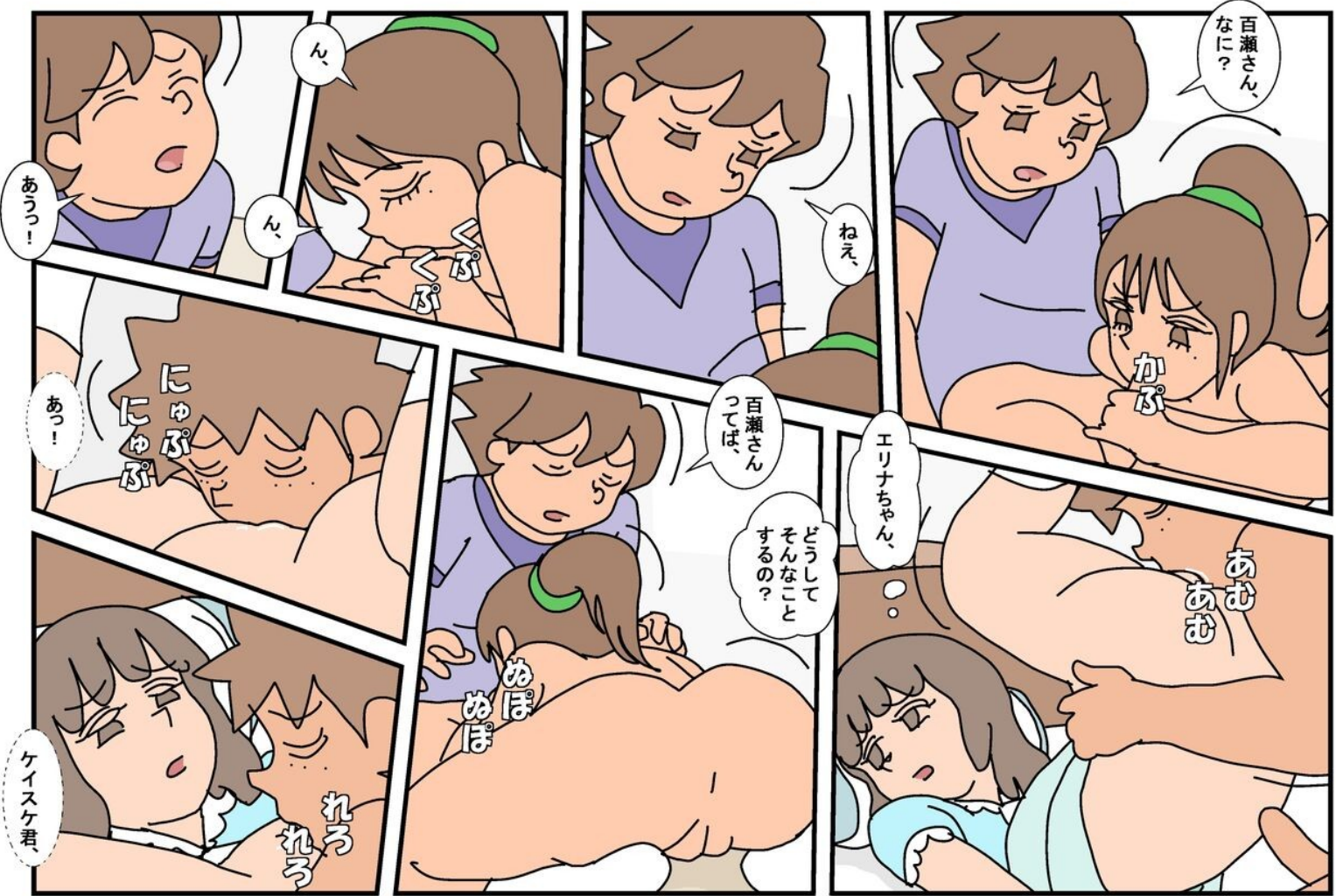












あうっ!

ん

ん

くび  
くび

ねえ

百瀬さん  
なに?

かび

あう!

じゅぷ  
じゅぷ

百瀬さん  
ってば

どうして  
そんなこと  
するの?

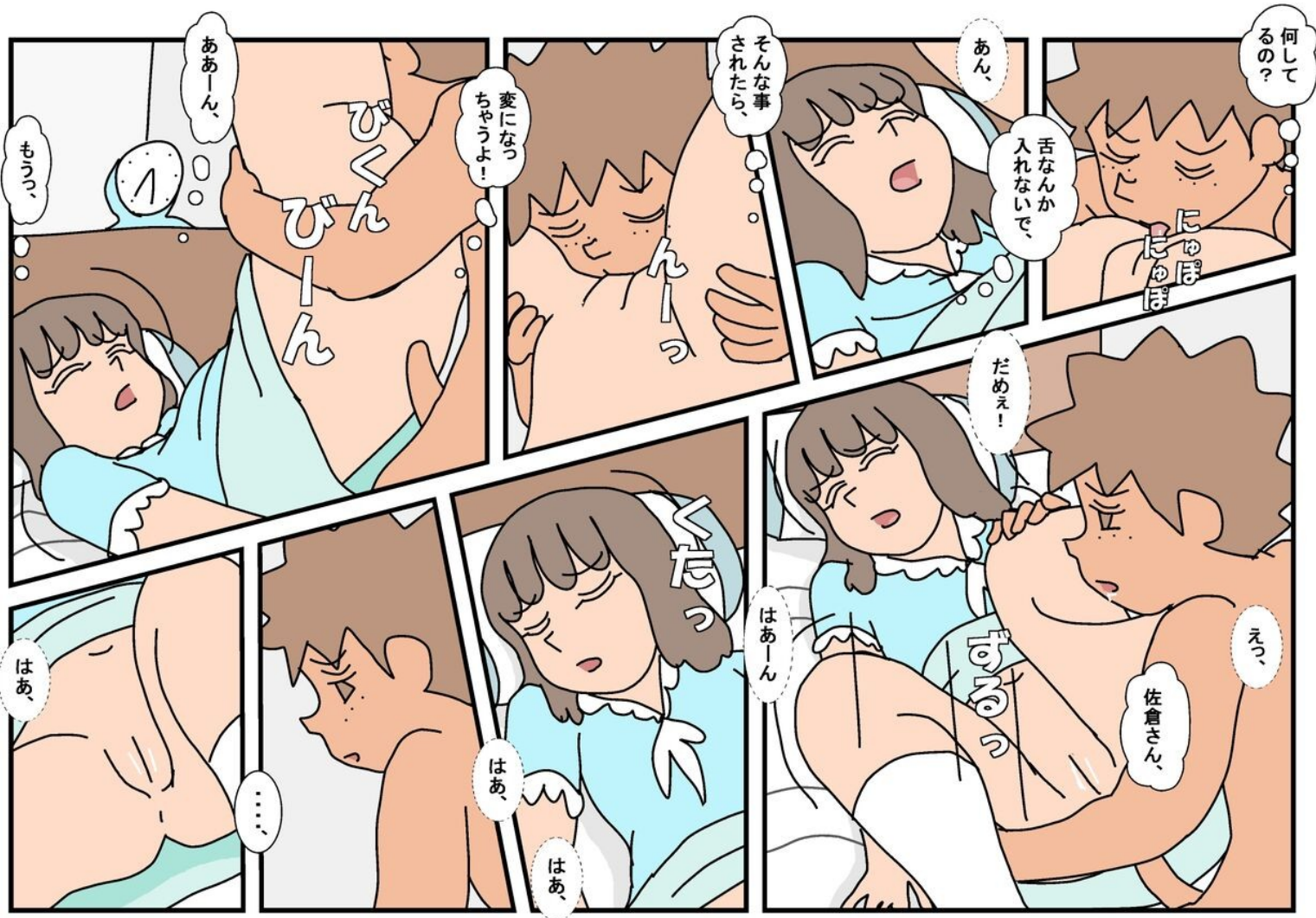
エリナちゃん

あむ  
あむ

ケイスケ君

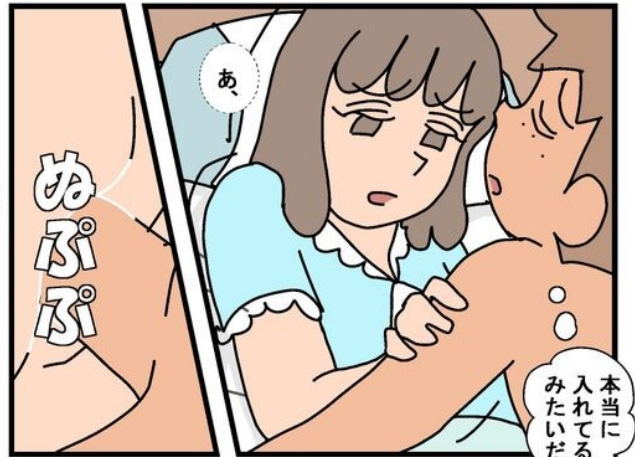
れろ  
れろ

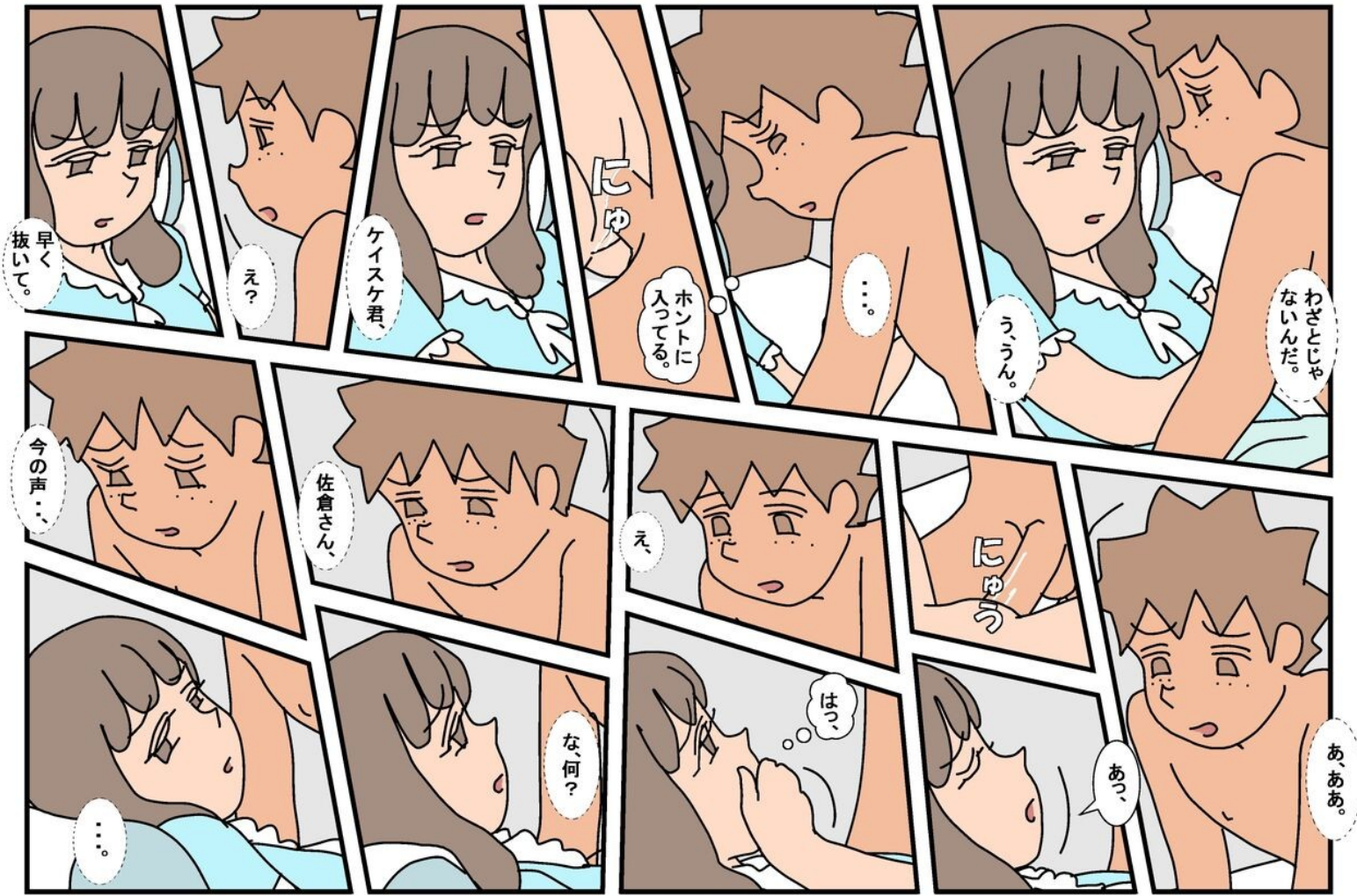
めほ  
めほ

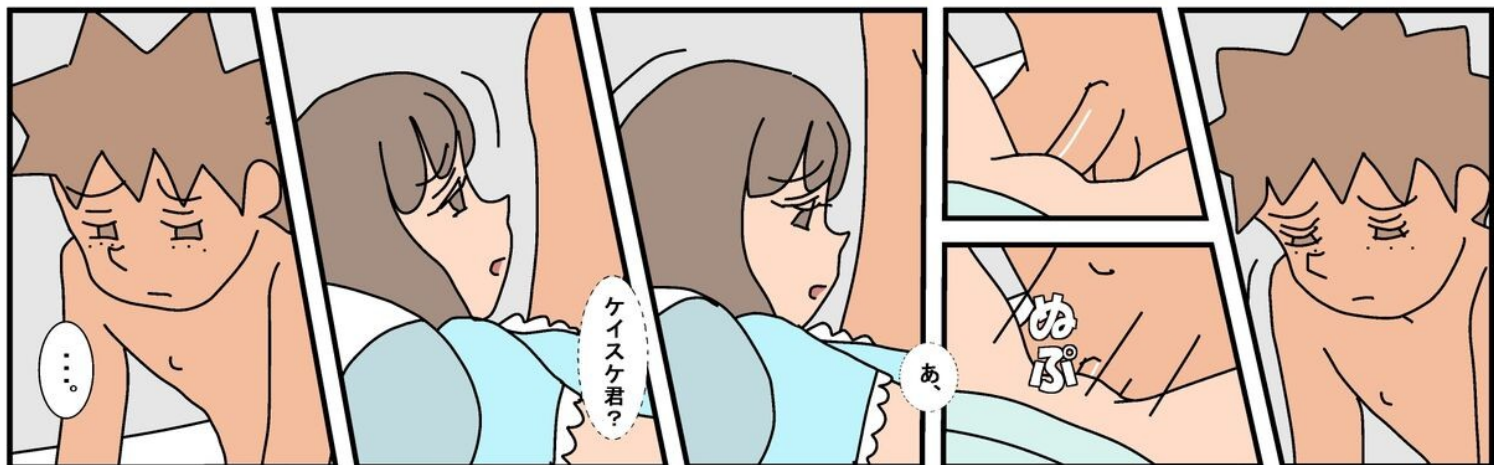














あ、



えっ、それは…



じゃあ  
続けて  
いい？

…

そうなん  
だね？

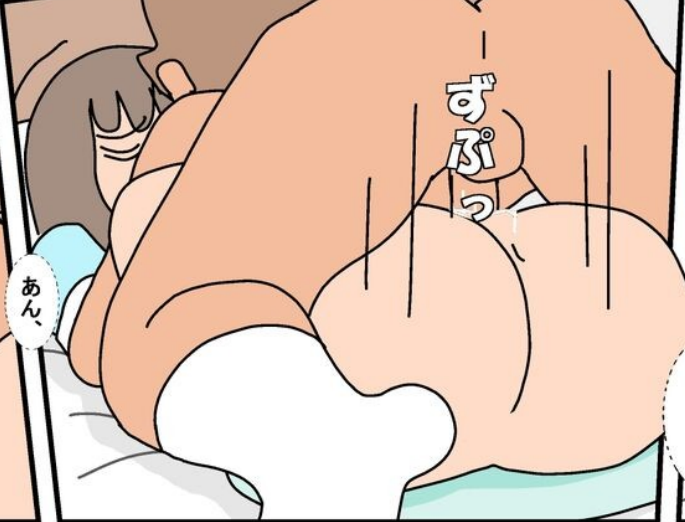


えっ、



ああん、

ぬっ  
ぬっ  
っ  
っ  
っ  
っ



ず  
ぶ  
っ

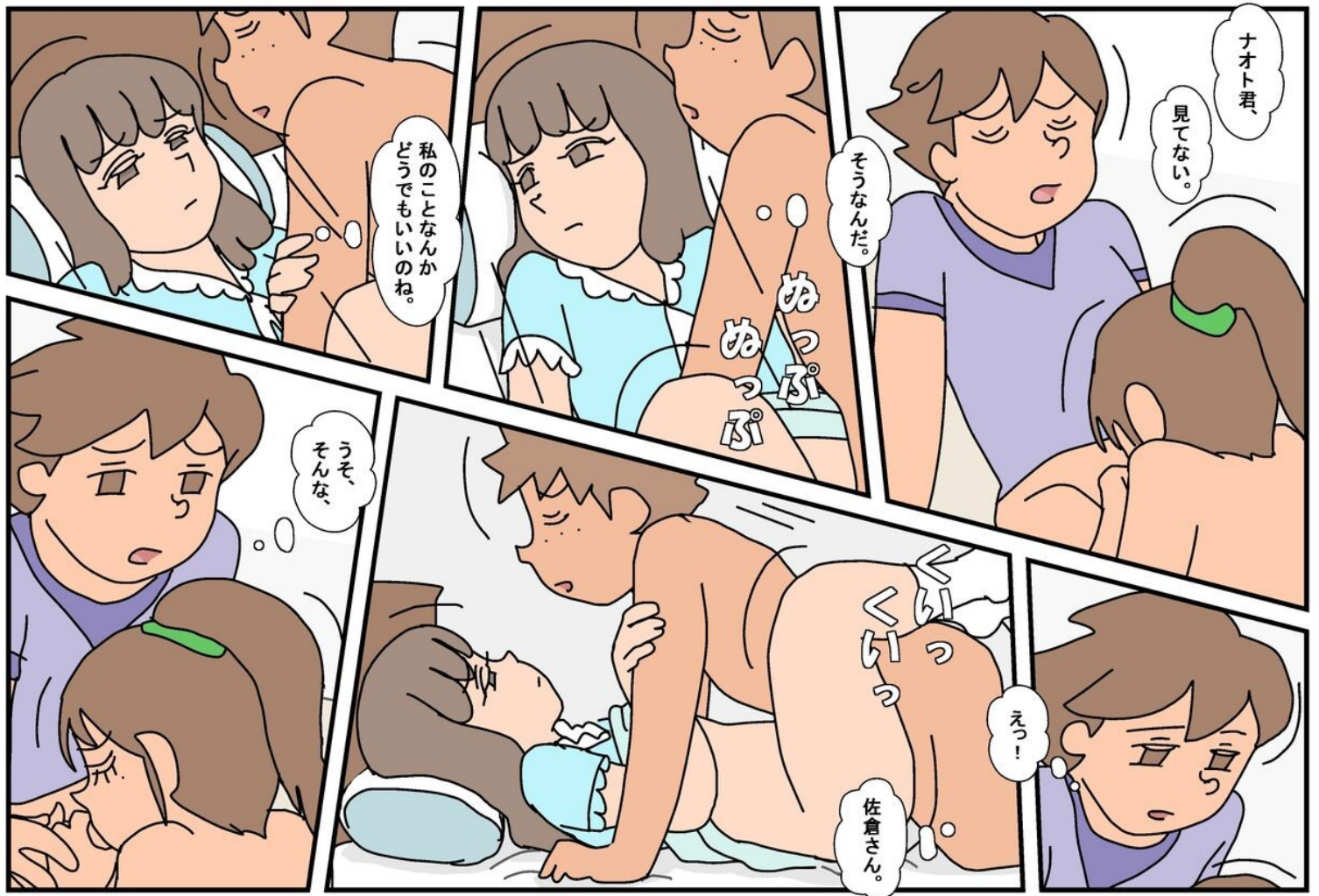
あん



ケイスケ君

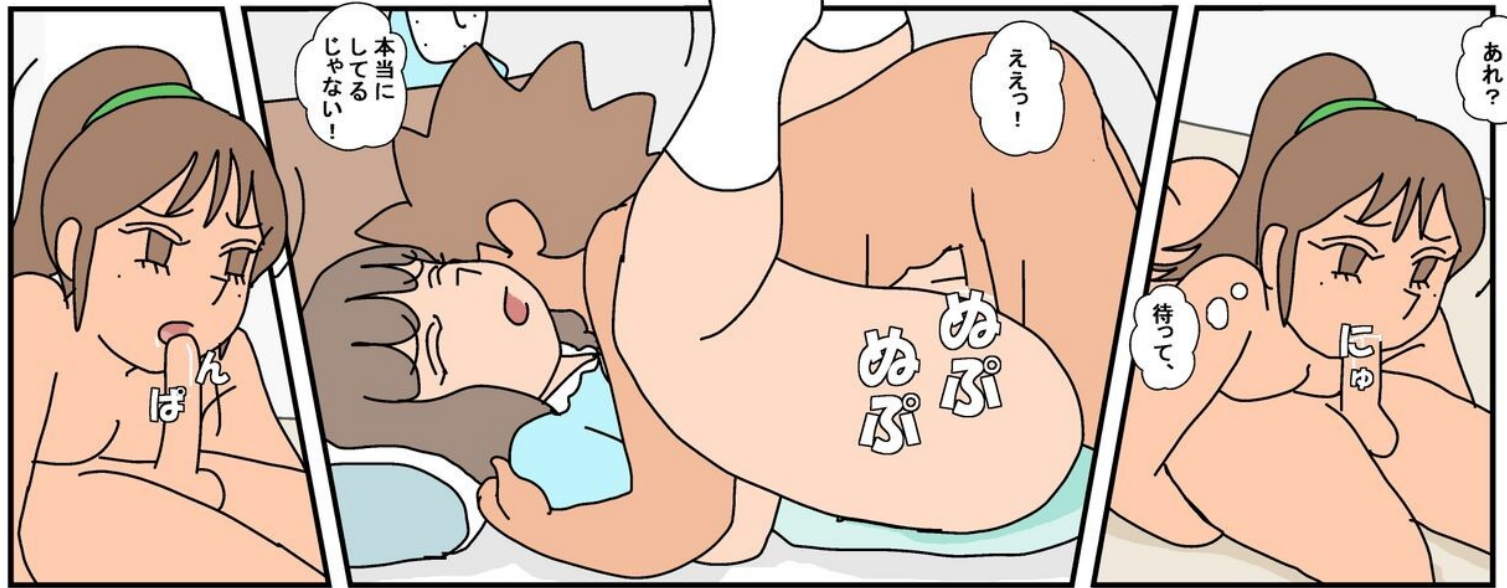
だめよ

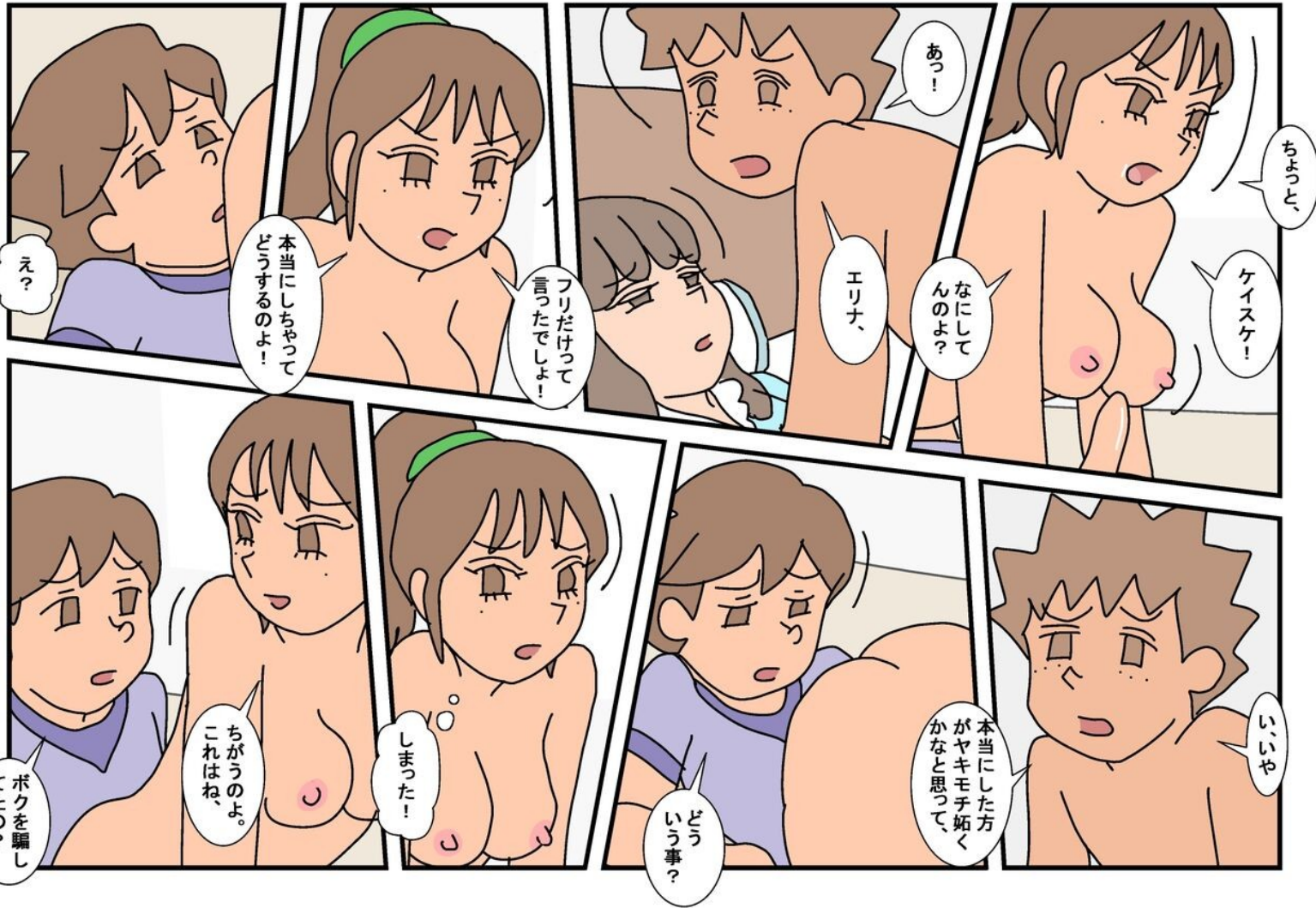




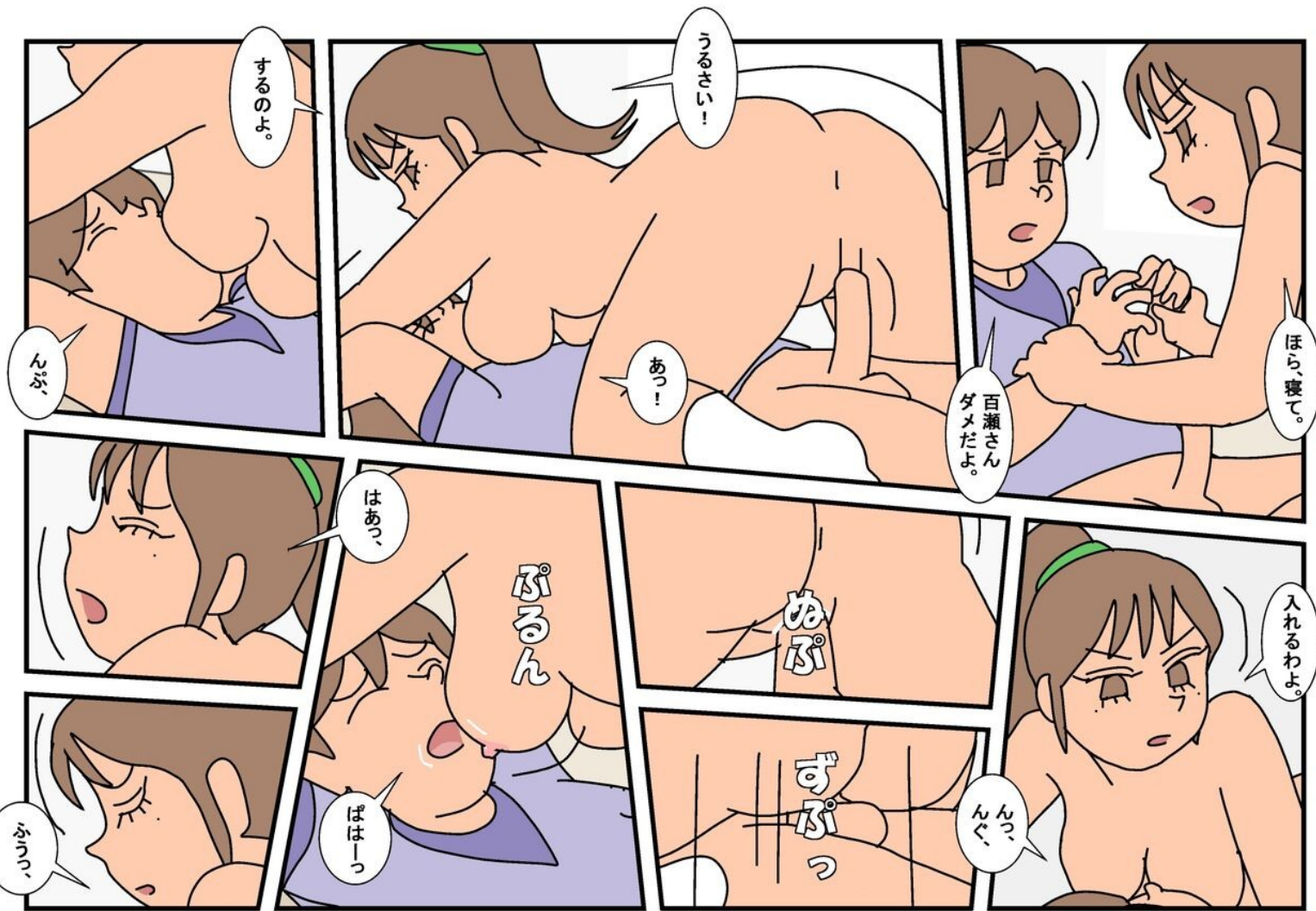












するよ。

んぐん

んぐんぐー!!

あっ!

百瀬さん  
ダメだよ。

ほら、寝て。

はあっ

びるん

ぬび

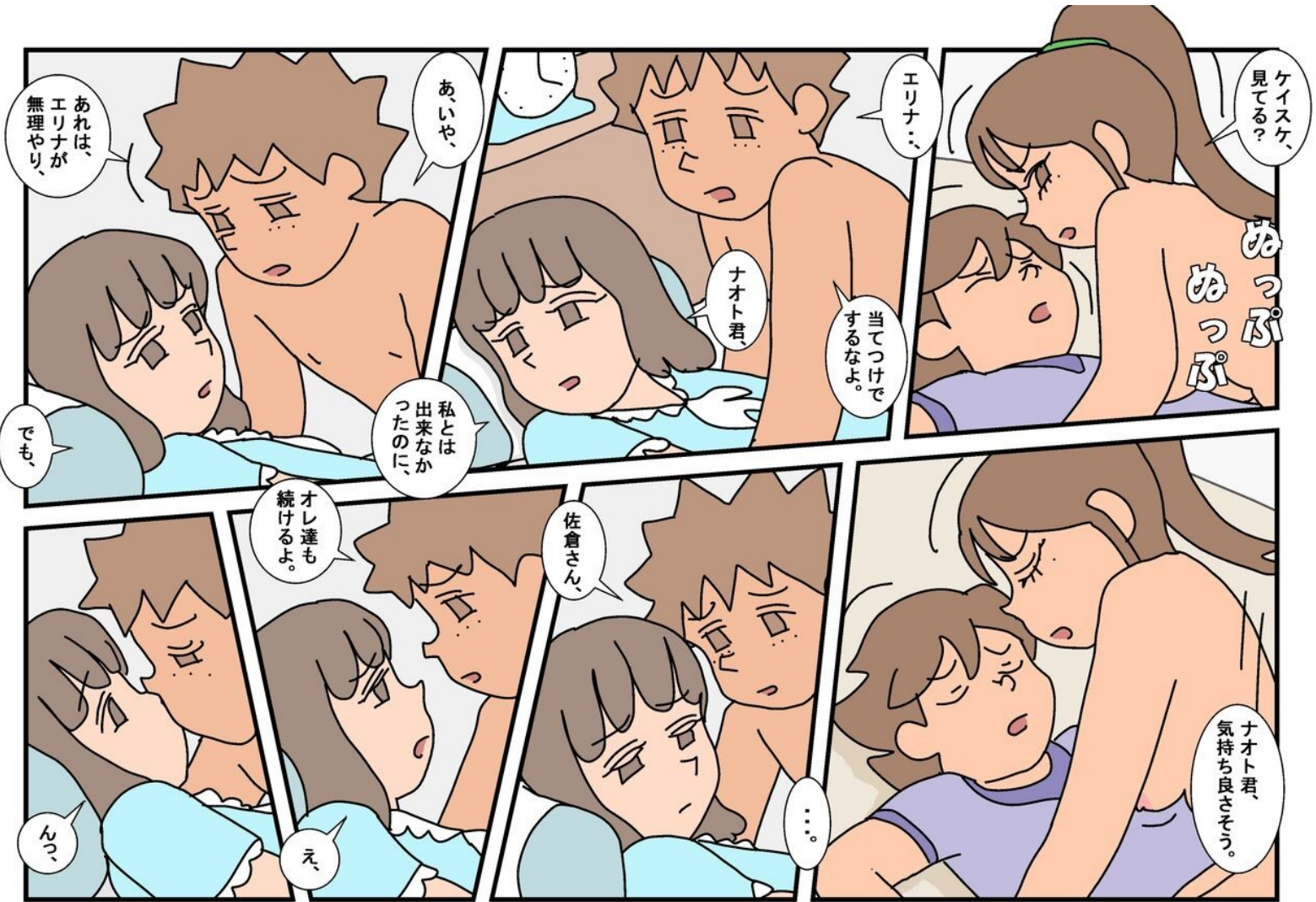
入れるわよ。

んぐん

ははーっ

ずびっ

んぐんぐ



ケイスケ、  
見てる？

ぬっぴ  
ぬっぴ

エリナ、

当てつけて  
するなよ。

ナオト君、

あいや、

私とは  
出来なかつたのに、

あれは、  
エリナが  
無理やり、

でも、

ナオト君、  
気持ち良さそう。

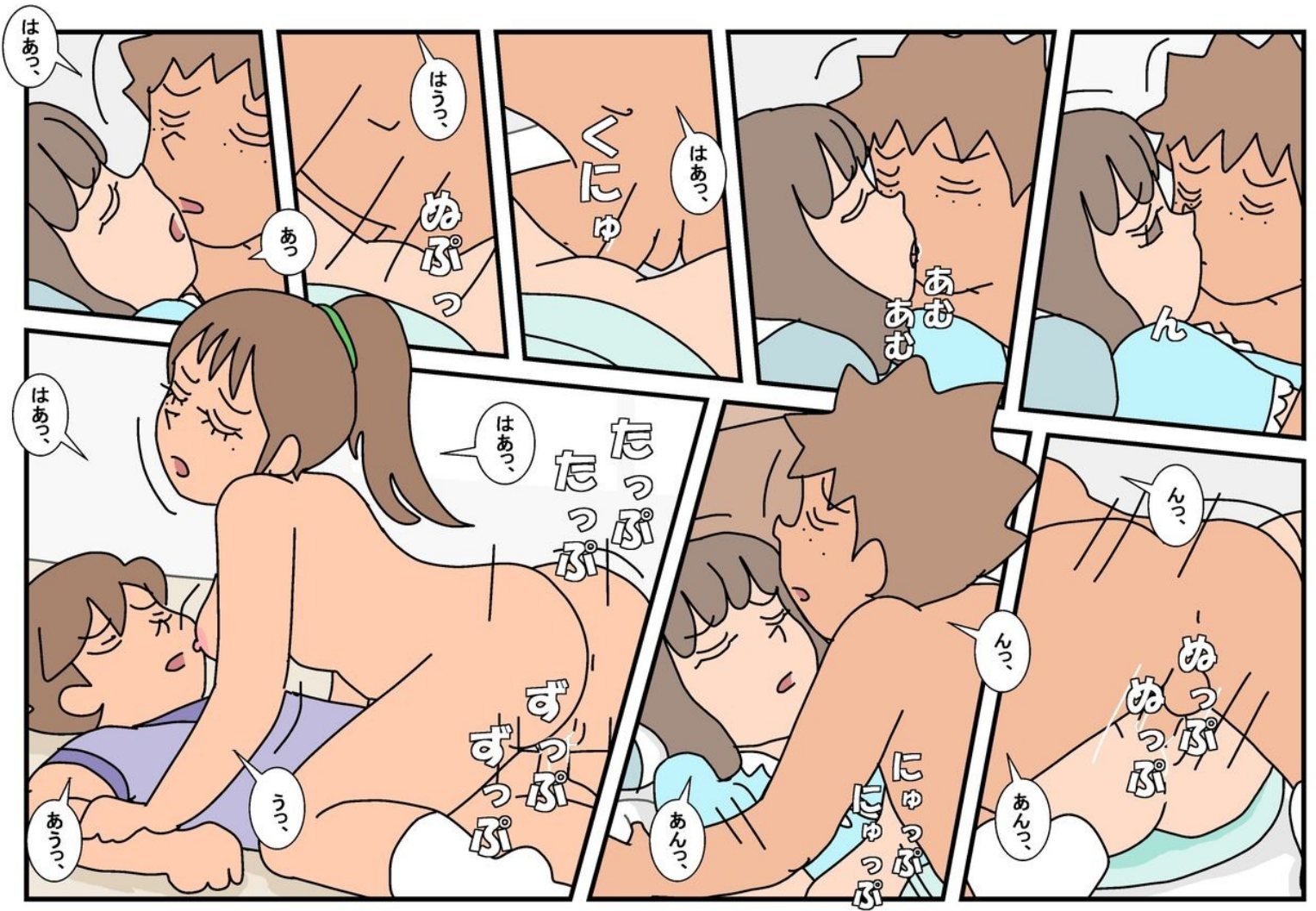
...

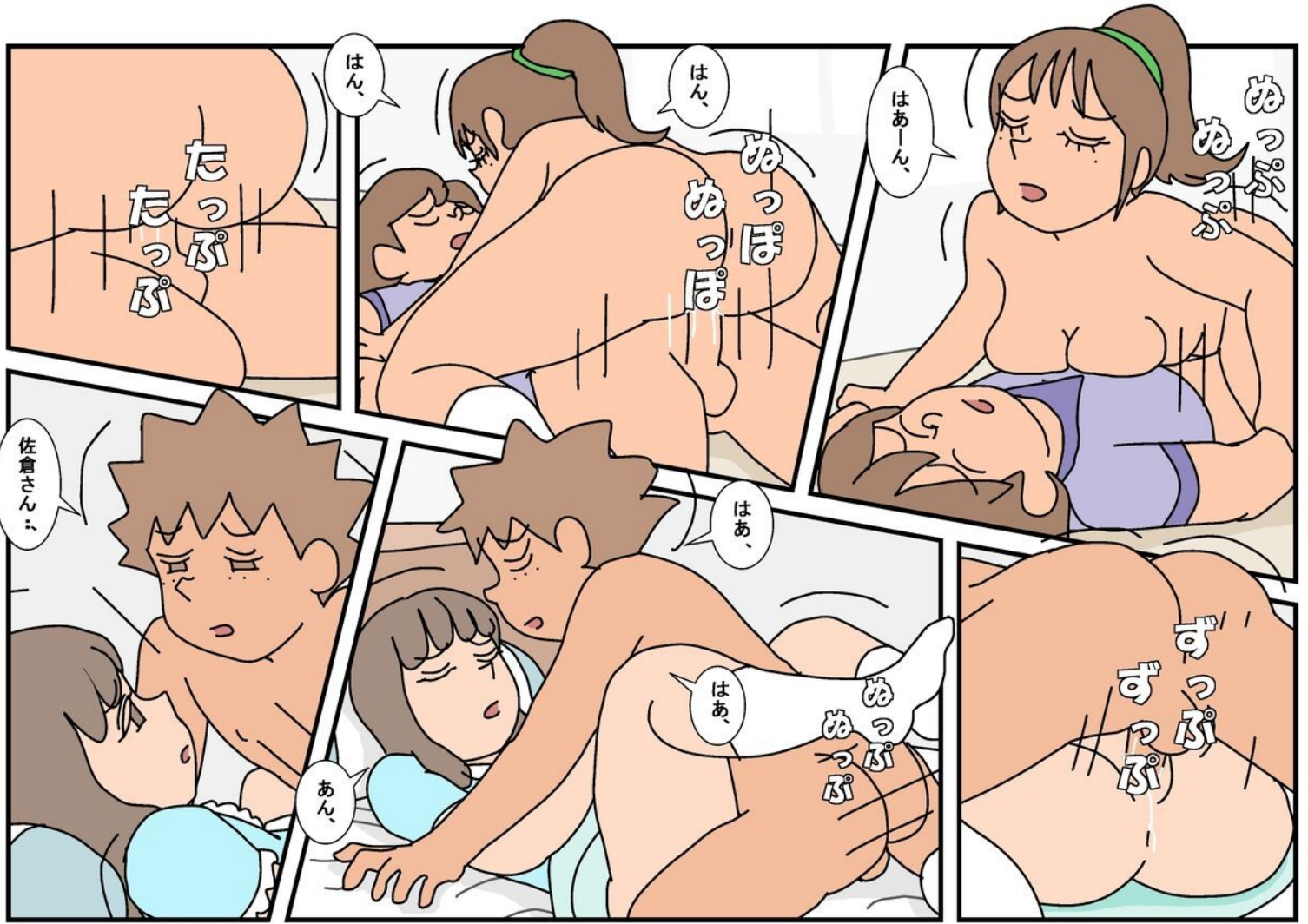
佐倉さん、

オレ達も  
続けるよ。

え、

んっ、







...

気持ち  
いい？

うん。

オレの  
チンコ

どうって

え

どうっ



チンコ

ずっ  
ずっ  
ずっ



ほらっ！

にゅっ  
にゅっ  
にゅっ

あ



ダメだよ！

今はオレ  
のチンコに  
集中して。

ぐいっ

えっ



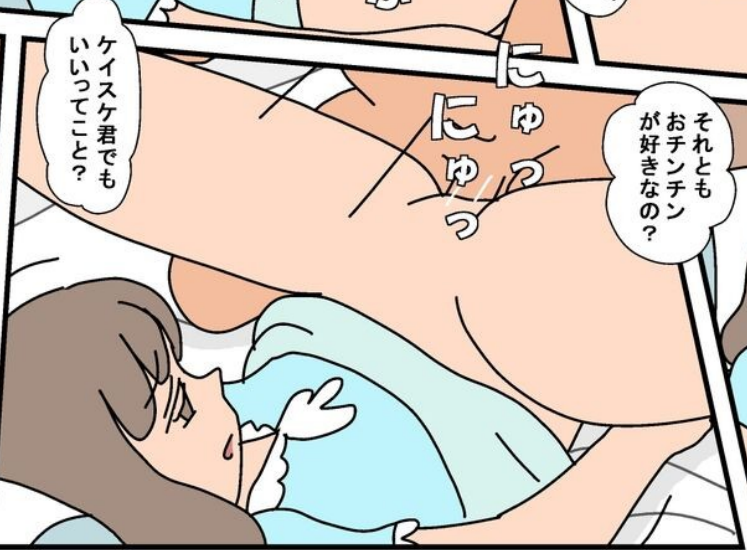
ナオト君が  
好きなの？



本当に気持ちよく  
なってきた。ちやうど。



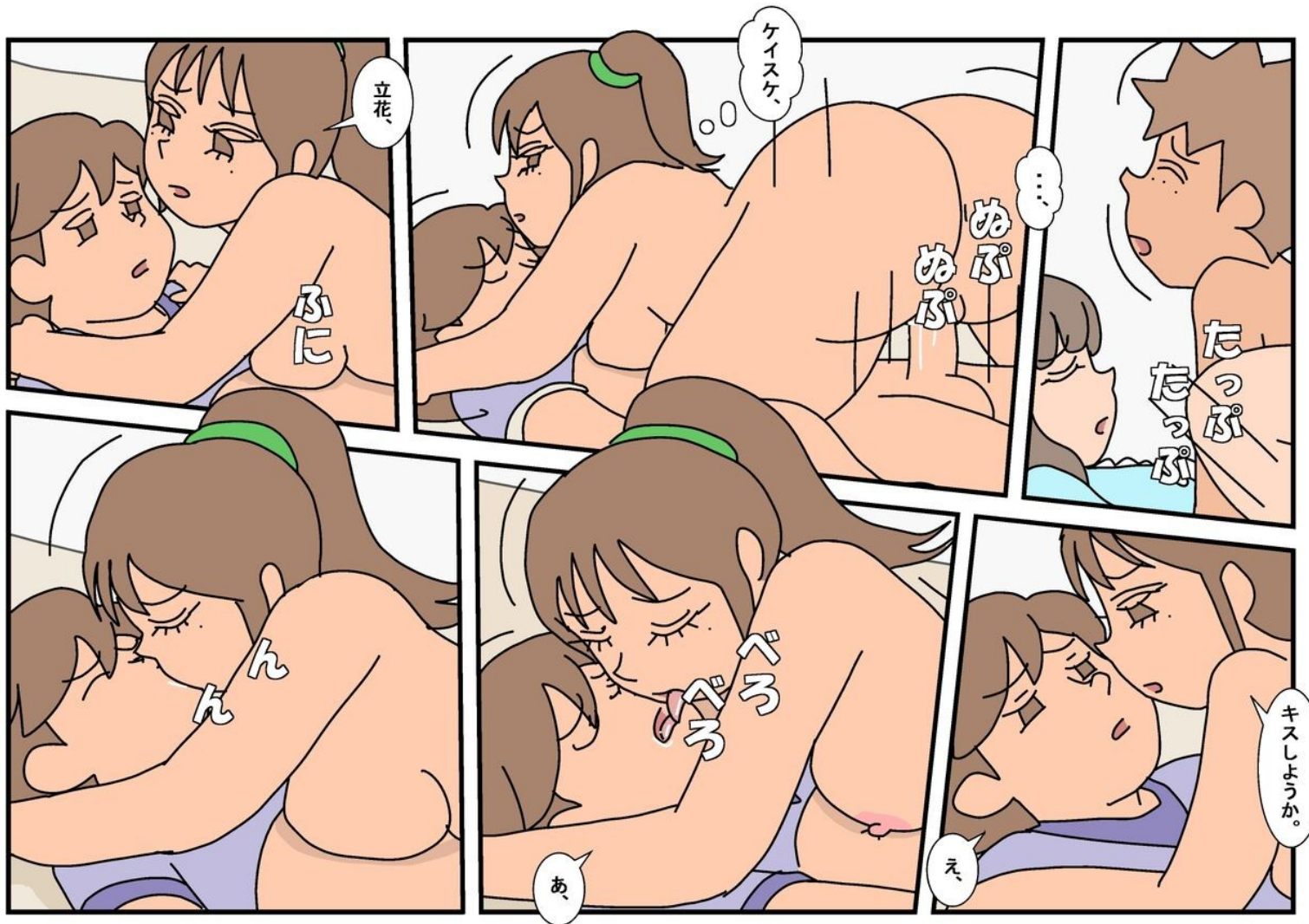
はあーん、

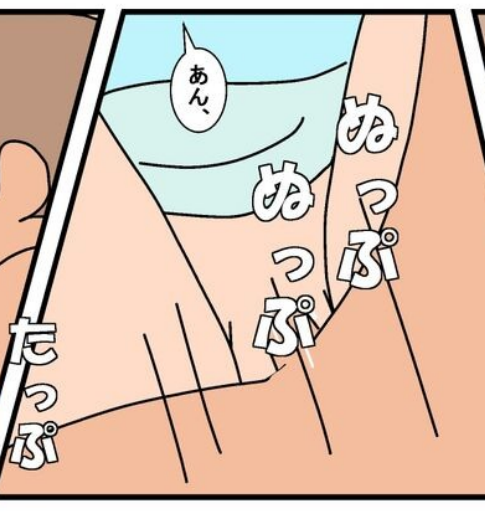
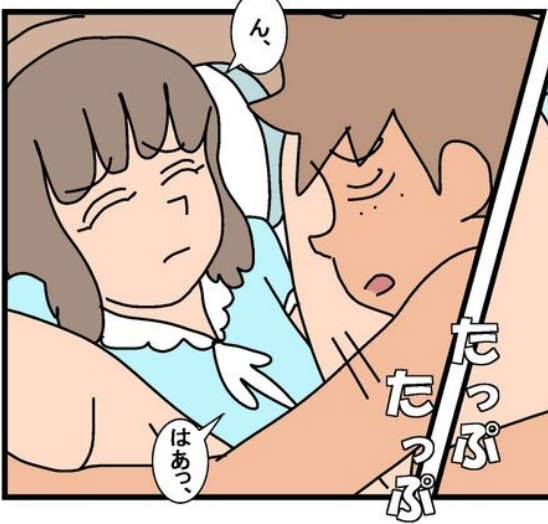
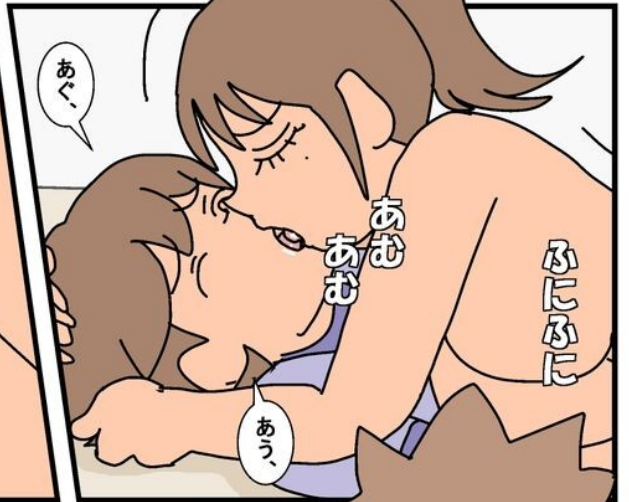
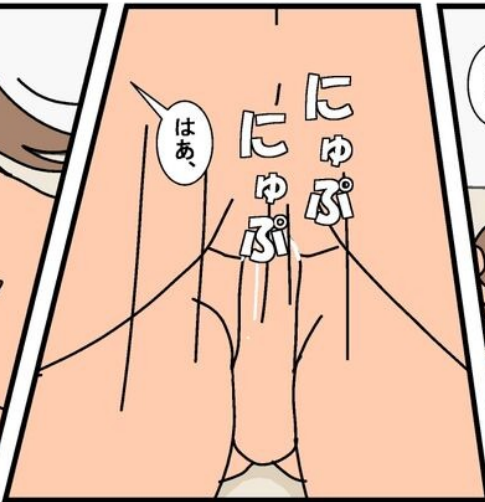
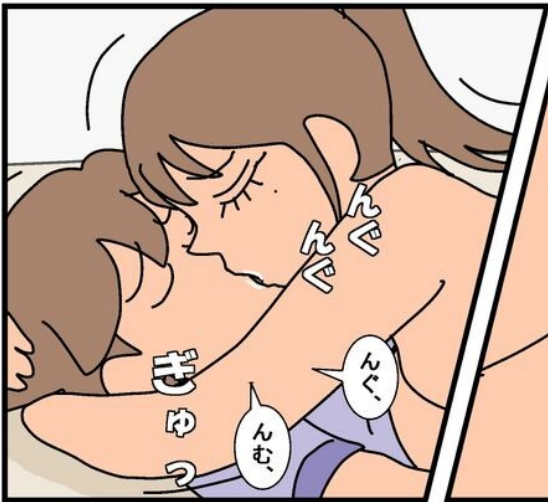


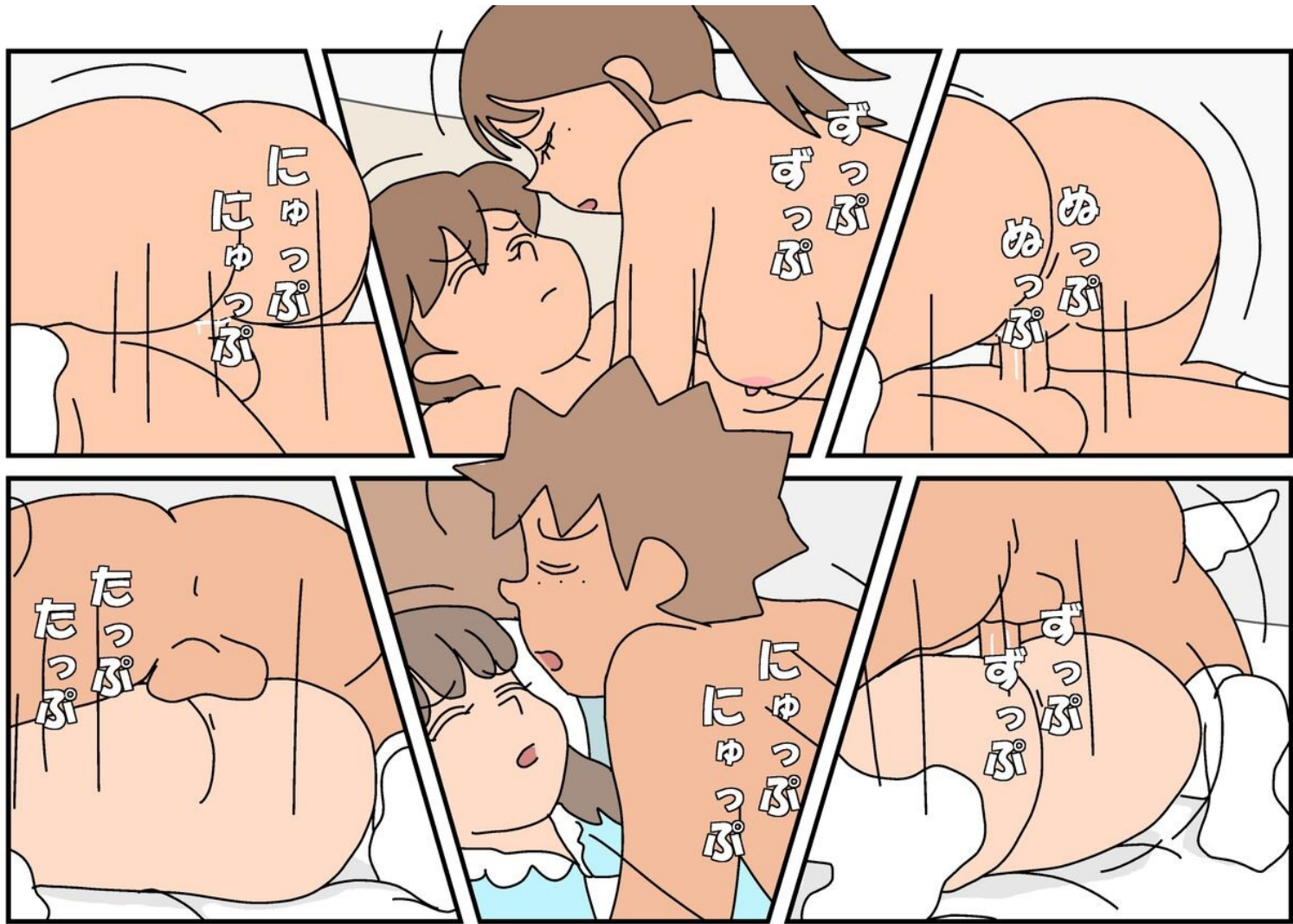
ケイスケ君でも  
いいってこと？

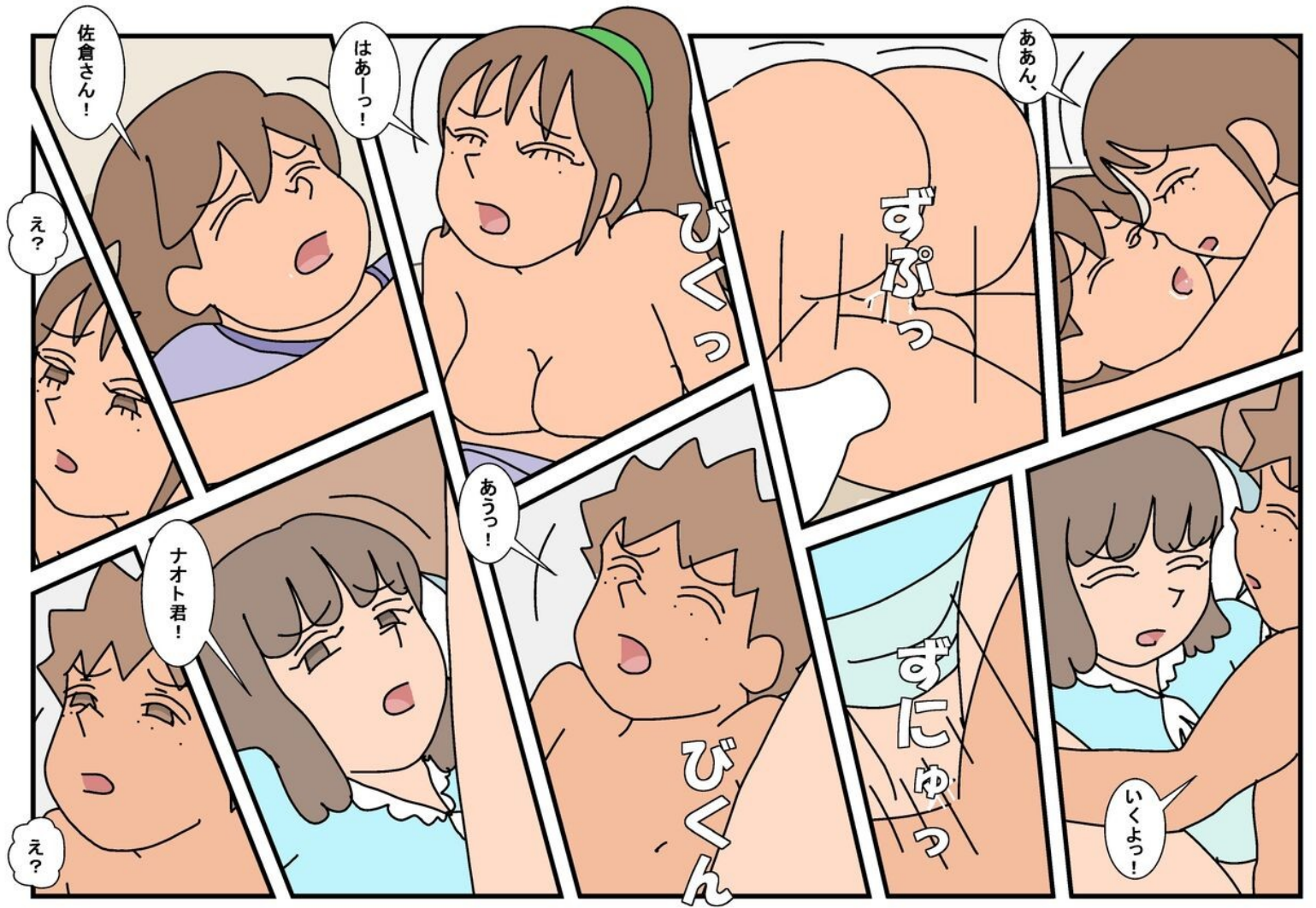


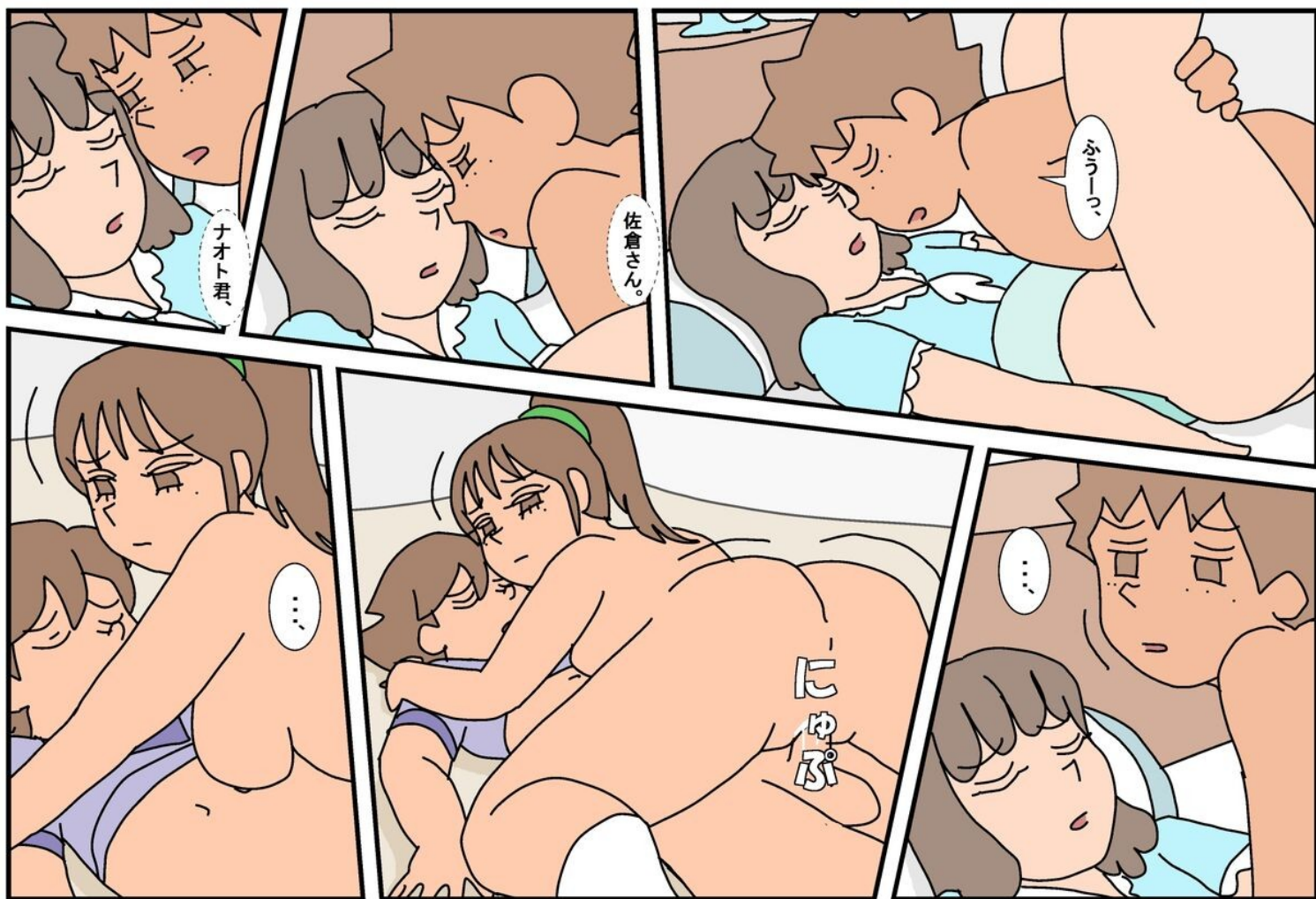
それとも  
おチンチン  
が好きなの？

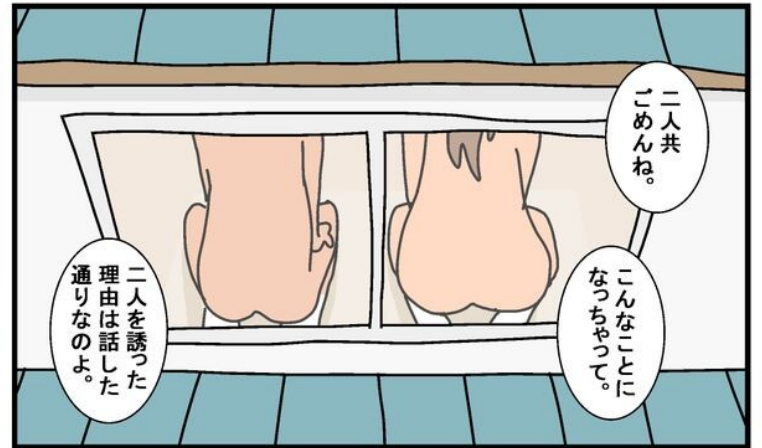












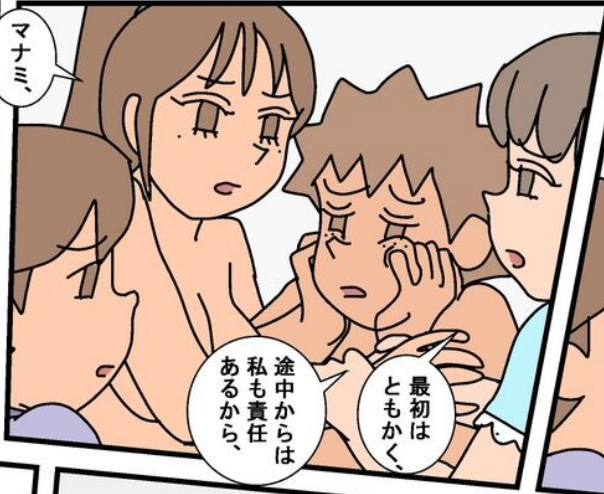
入れたら  
許さないって  
言ったわよね



エリナちゃん  
やめて。

最初は  
ともかく

途中からは  
私も責任  
あるから、



マナミ、



じゃあ許して  
くれるの？



ありがとう。

佐倉さん、

うん、



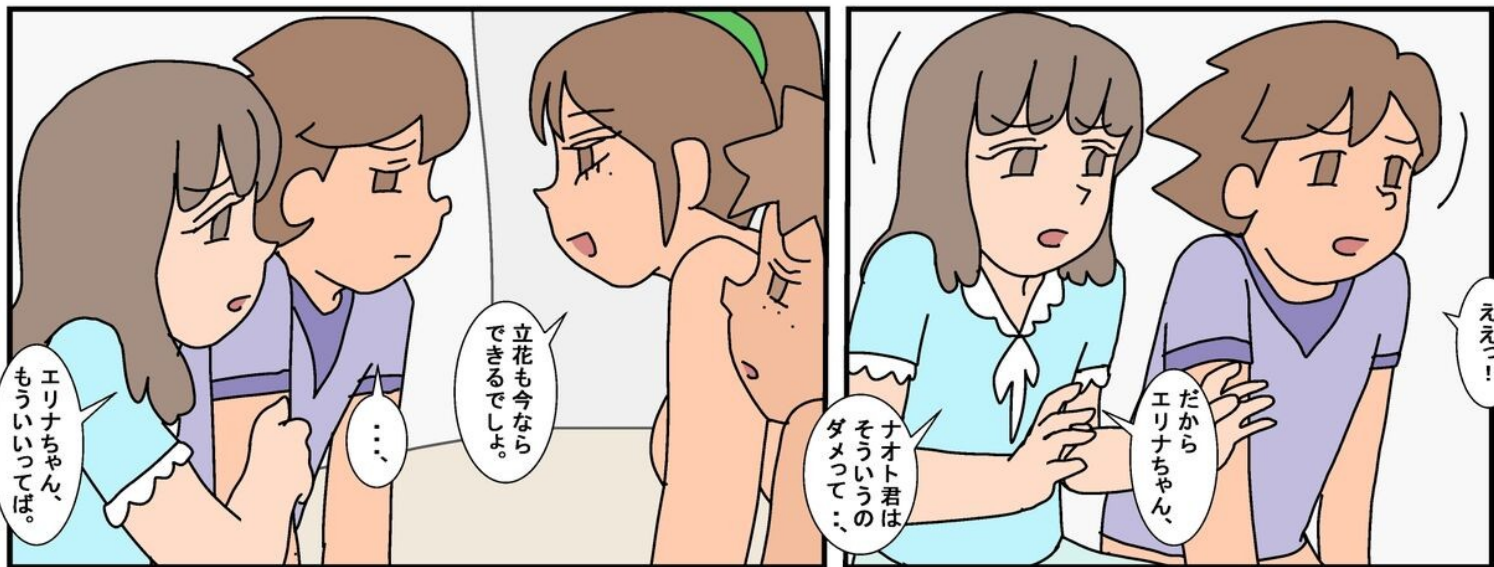
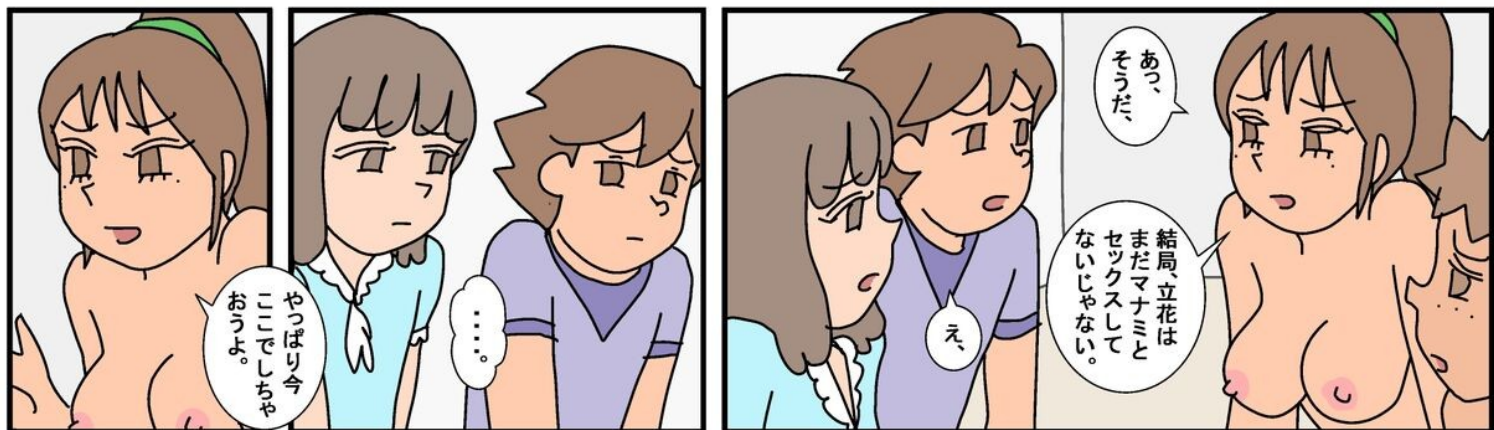
でも、

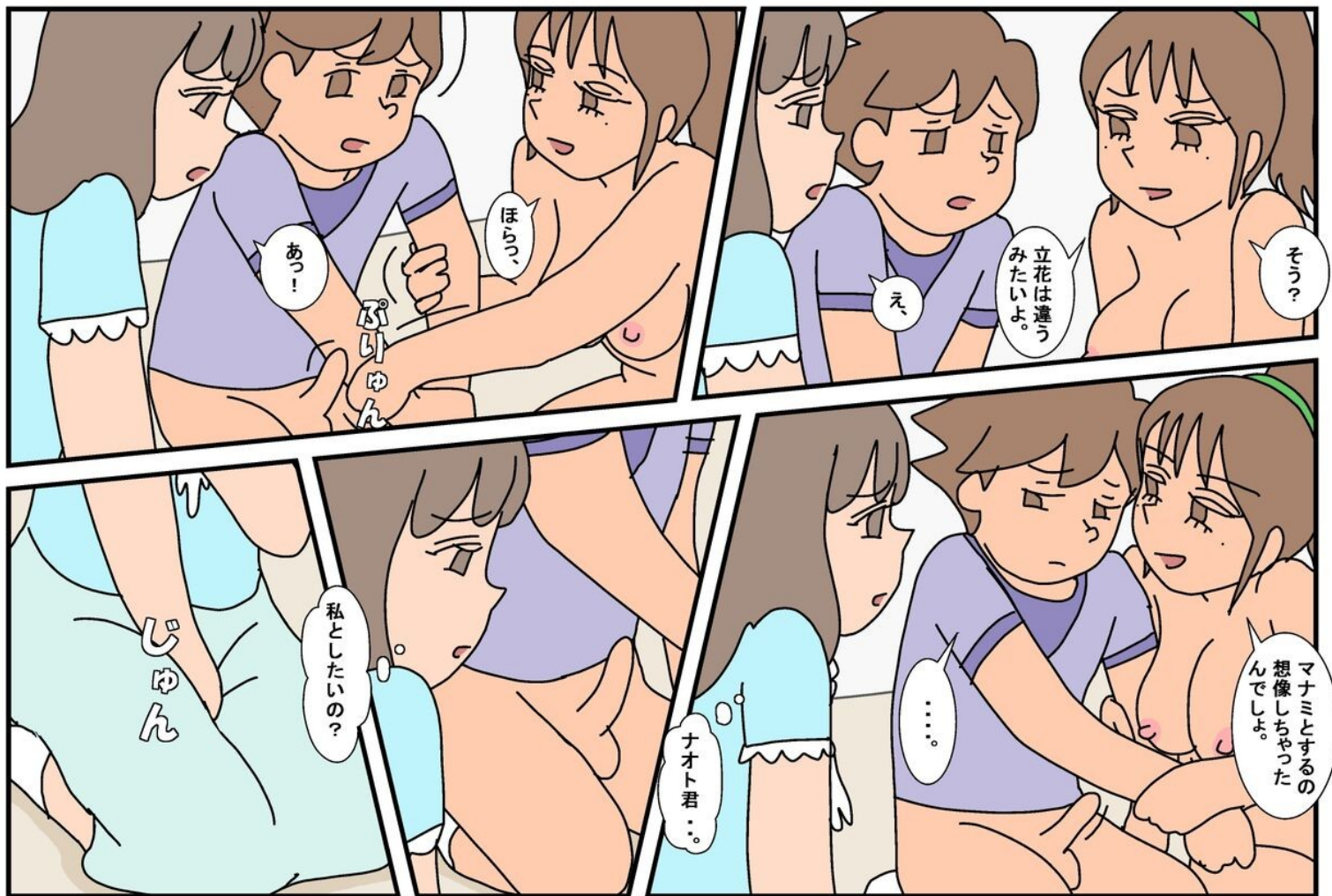
もう4人で  
会うのはこれ  
で終わりね。

え、

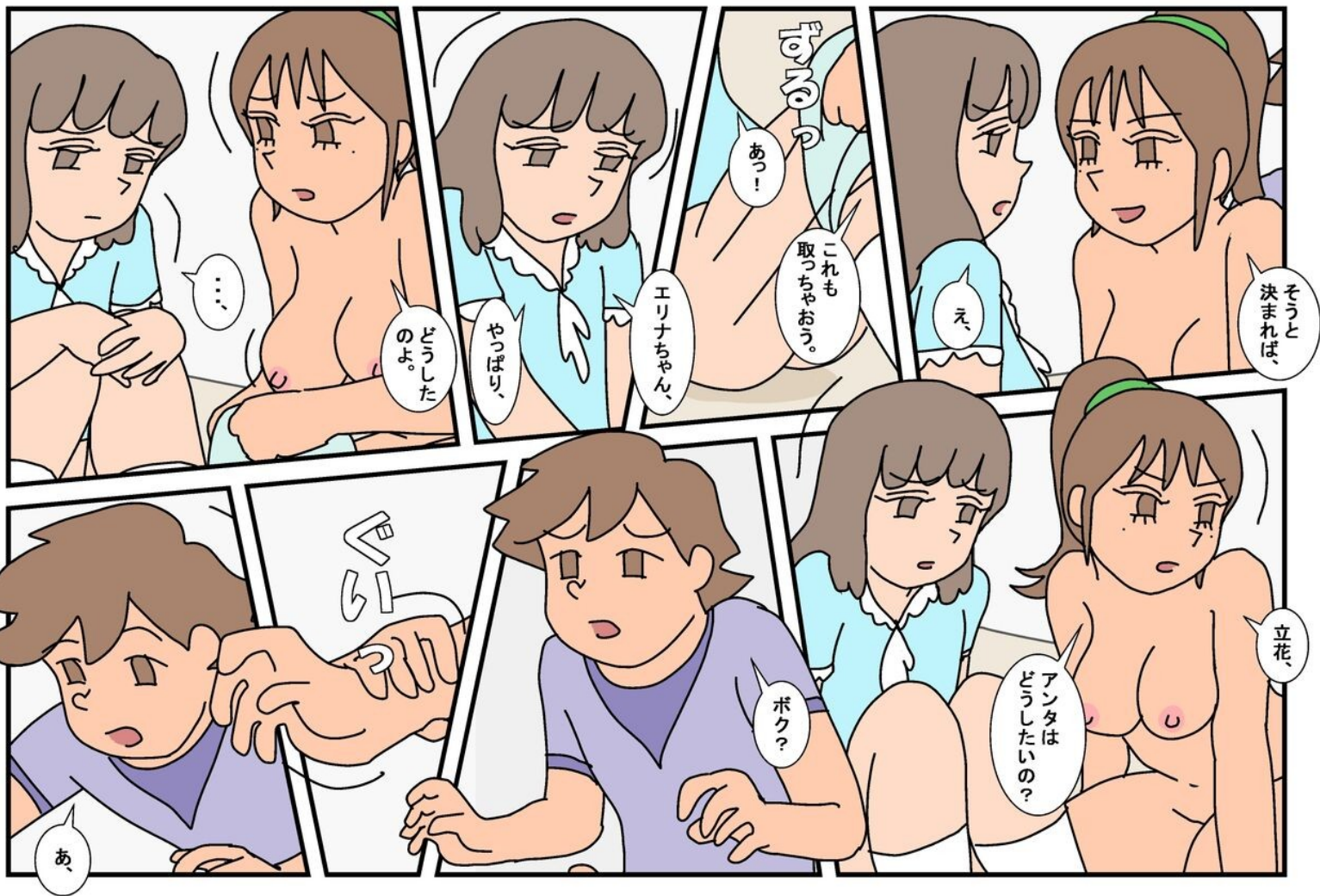


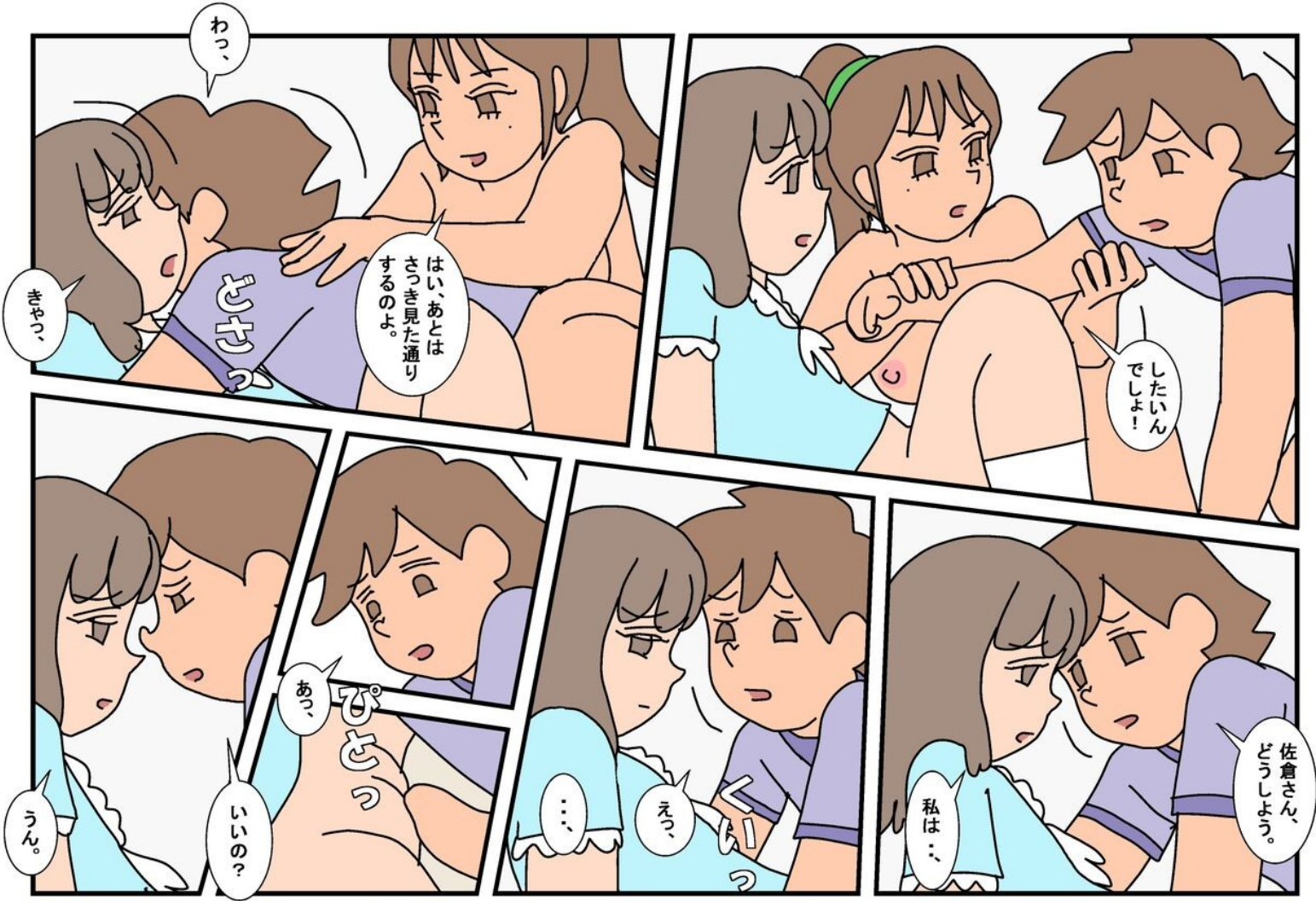
それは困る  
んだけど。



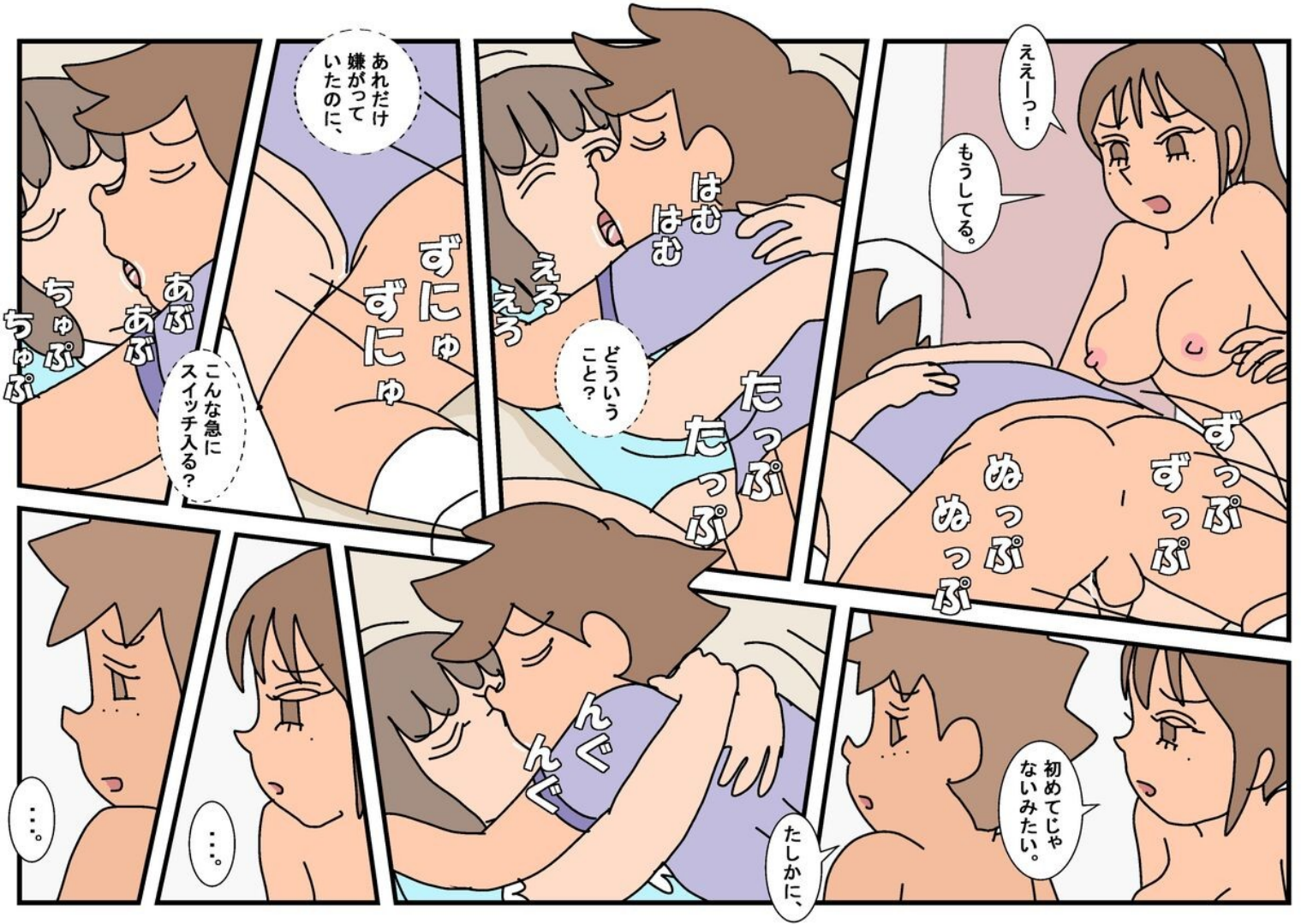












あれだけ  
嫌がって  
いたのに、

こんな急に  
スイッチ入る?

ちゅっぴ  
ちゅっぴ

あぶ  
あぶ

ずっぴ  
ずっぴ

はむ  
はむ

たっぴ  
たっぴ

ええーっ!

もうしてる。

ずっぴ  
ずっぴ

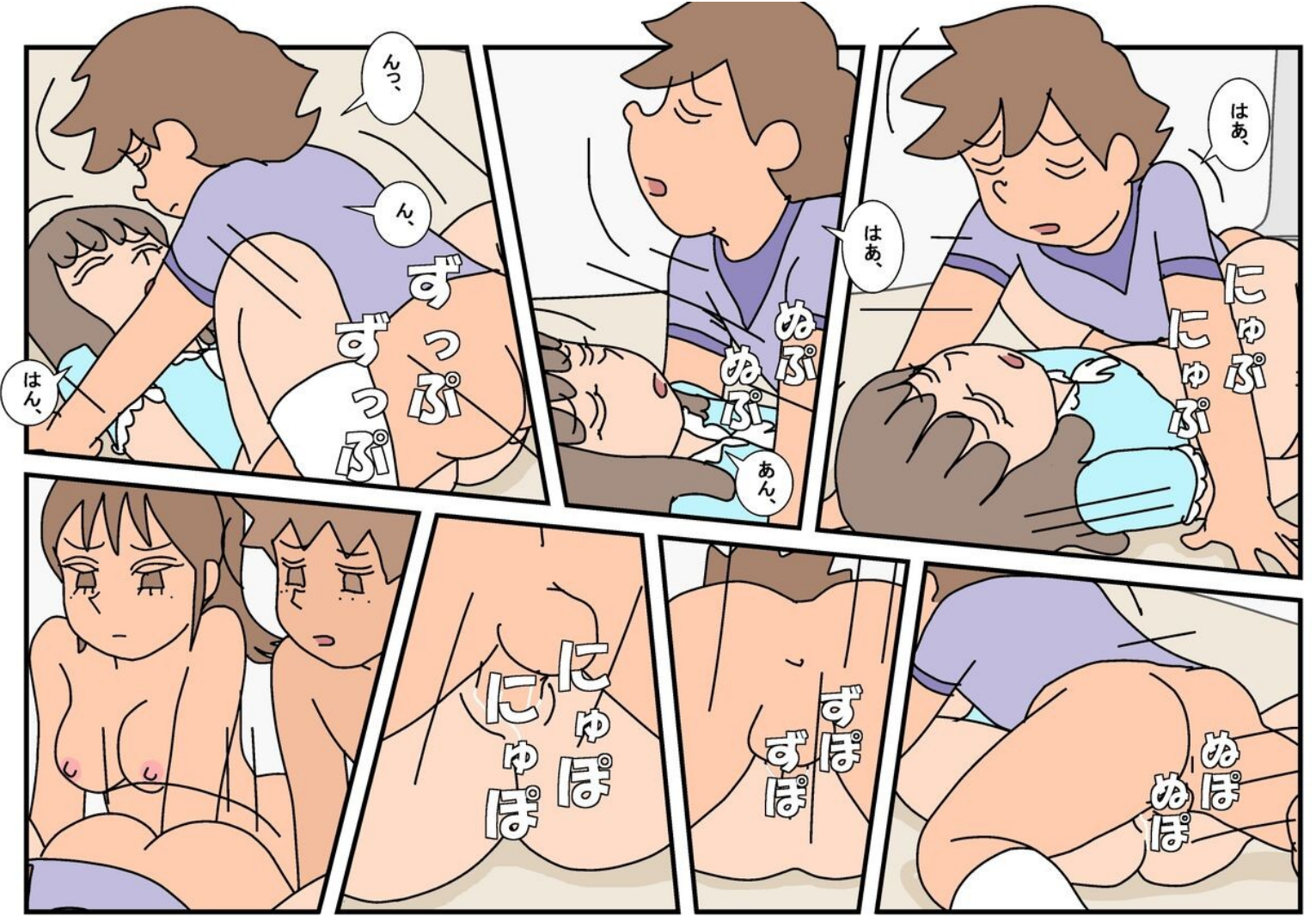
めっぴ  
めっぴ

...

...

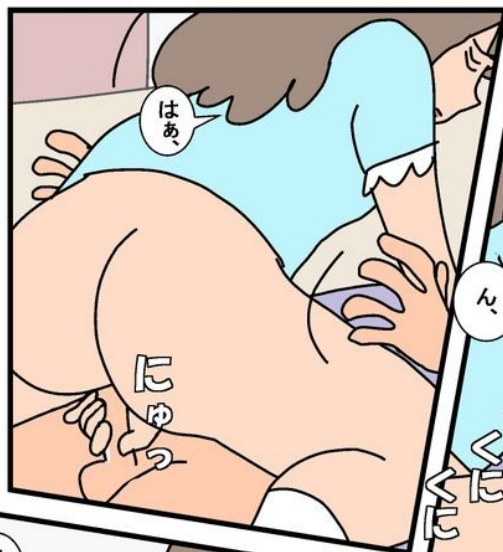
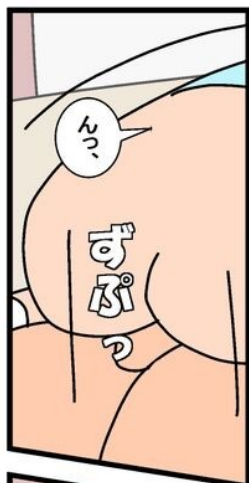
たしかに、

初めてじゃ  
ないみたい。











ナオト君

気持ちいい?

にゅっ

にゅっ

自分から動くんなんて  
マナミって結構大胆  
だったのね。

佐倉さん

はあーっ

にゅっ

めぶ

んっ



それで済むと思ってるの？

...

成り行きって何よ。

あれは成り行きで、

さっきあんな事しておいて。

何言ってるのよ。

いいだろ。

え？

エリナ、オレ達もしない？

違うのか？

それは...

ぶるん

そもそも、アレはエリナの計画だろ。

あっ！

勝手だな！

えっ？

なんだよ、

そうだけど...

ぬぷ  
ぬぷ  
ぬぷ

ずぶ  
ずぶ  
ずぶ

ぐにゅ  
ぐにゅ  
ぐにゅ

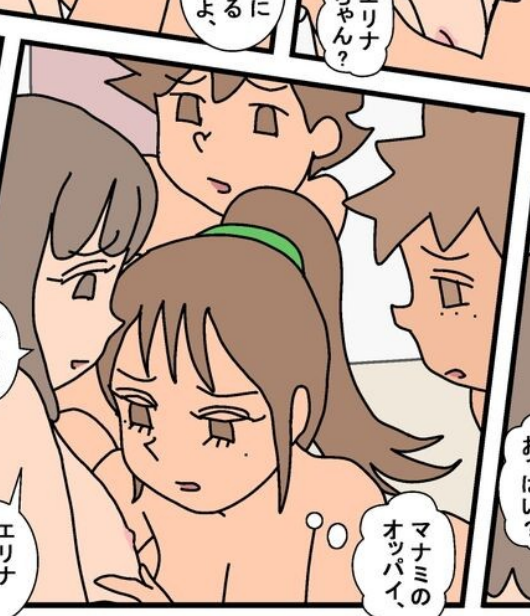
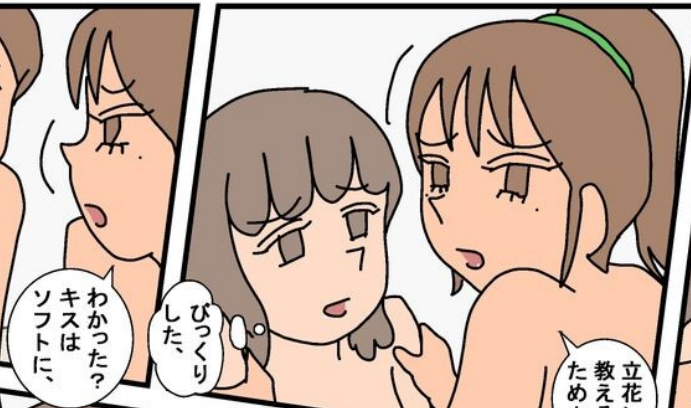




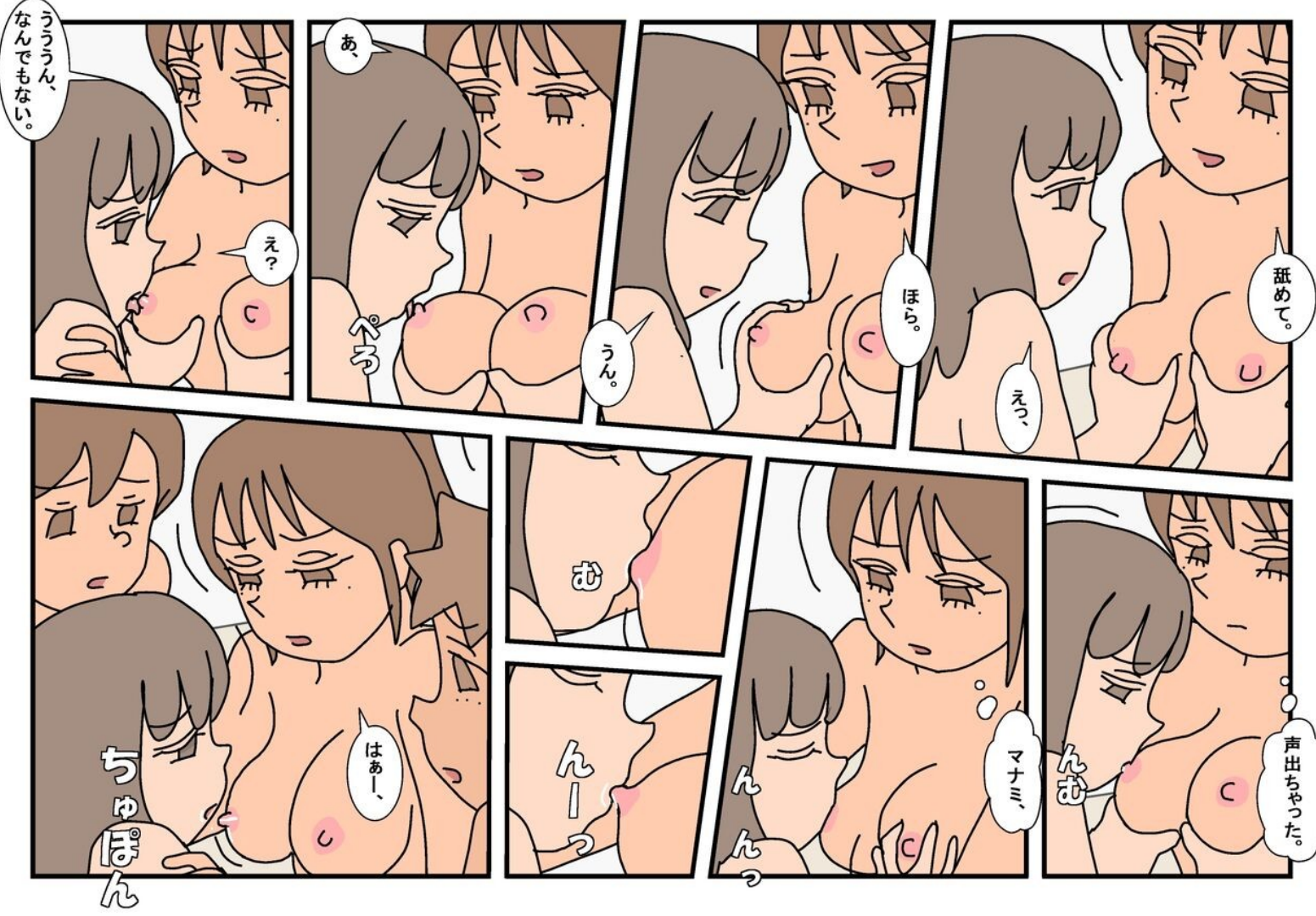


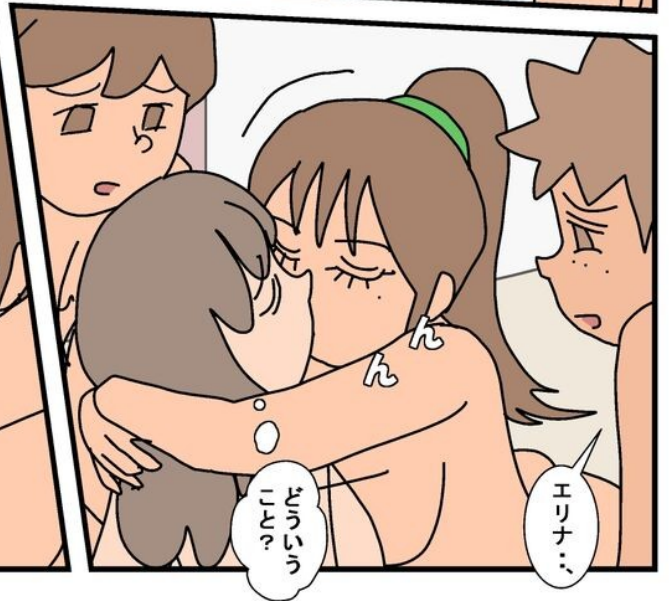
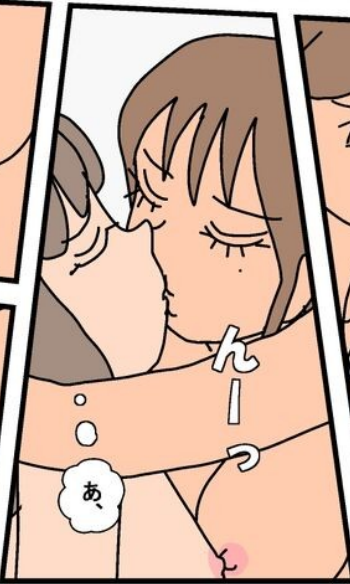
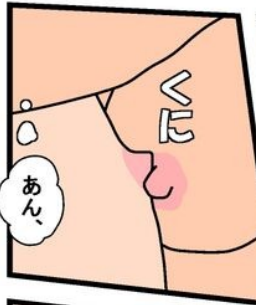
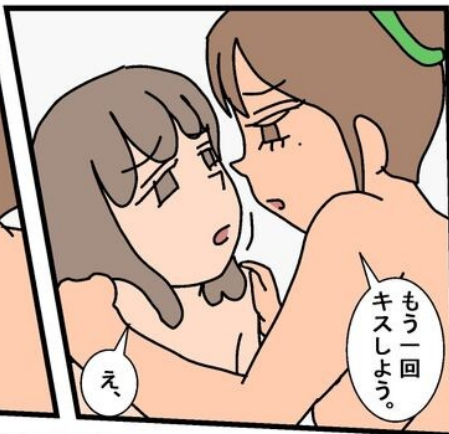


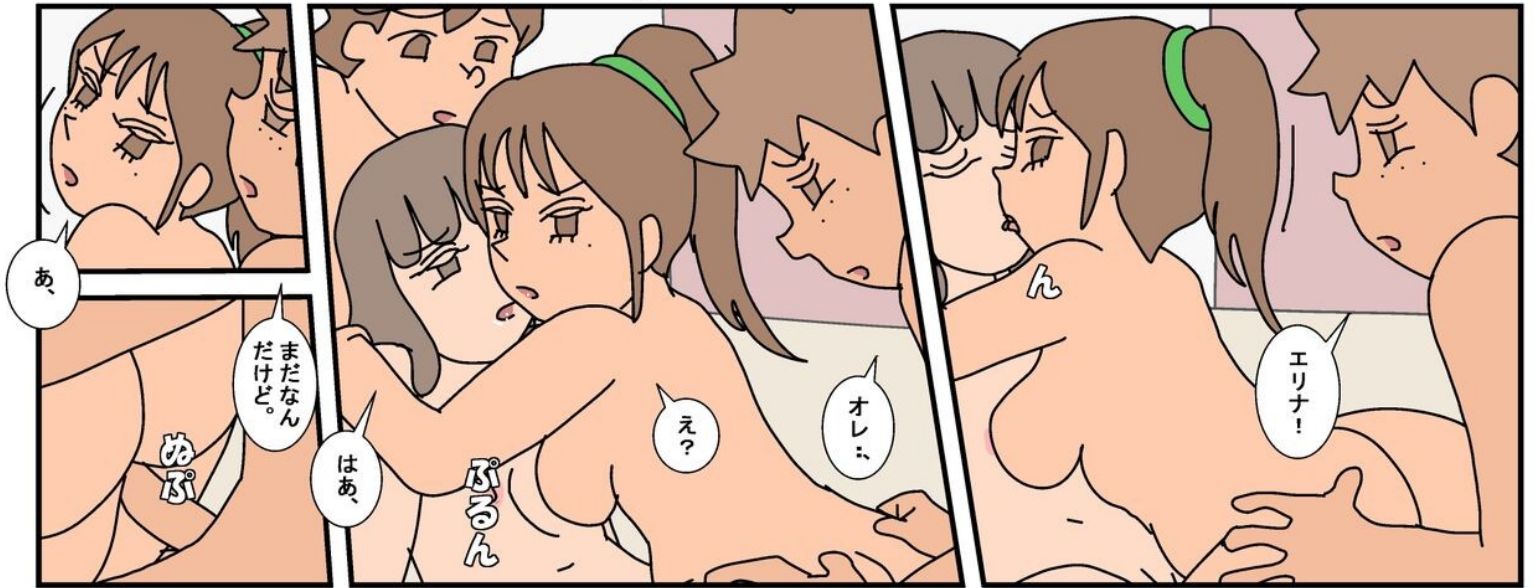
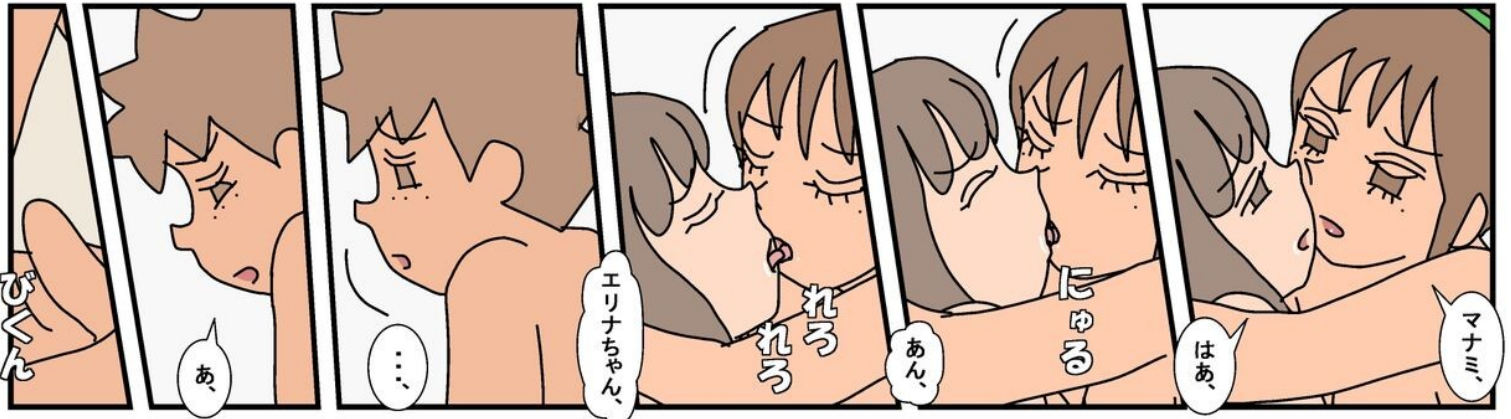


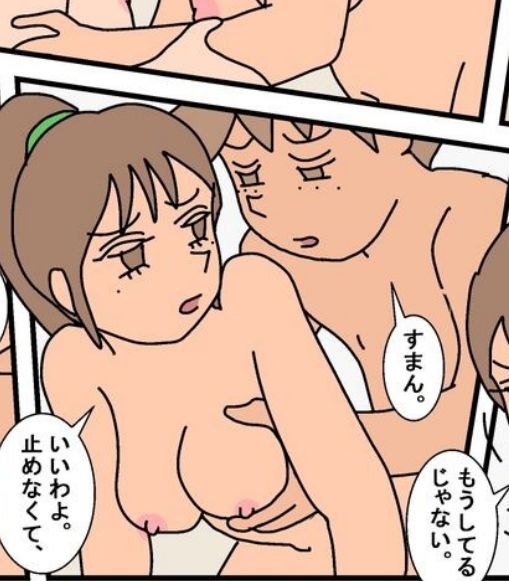
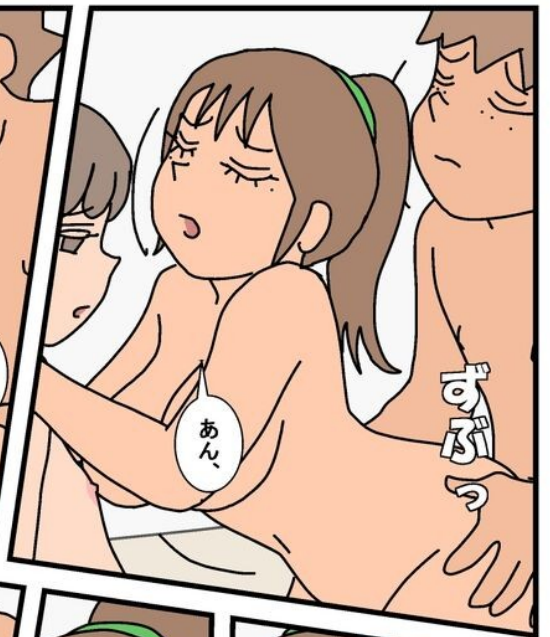
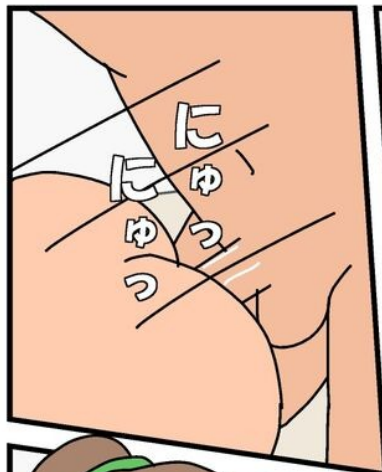


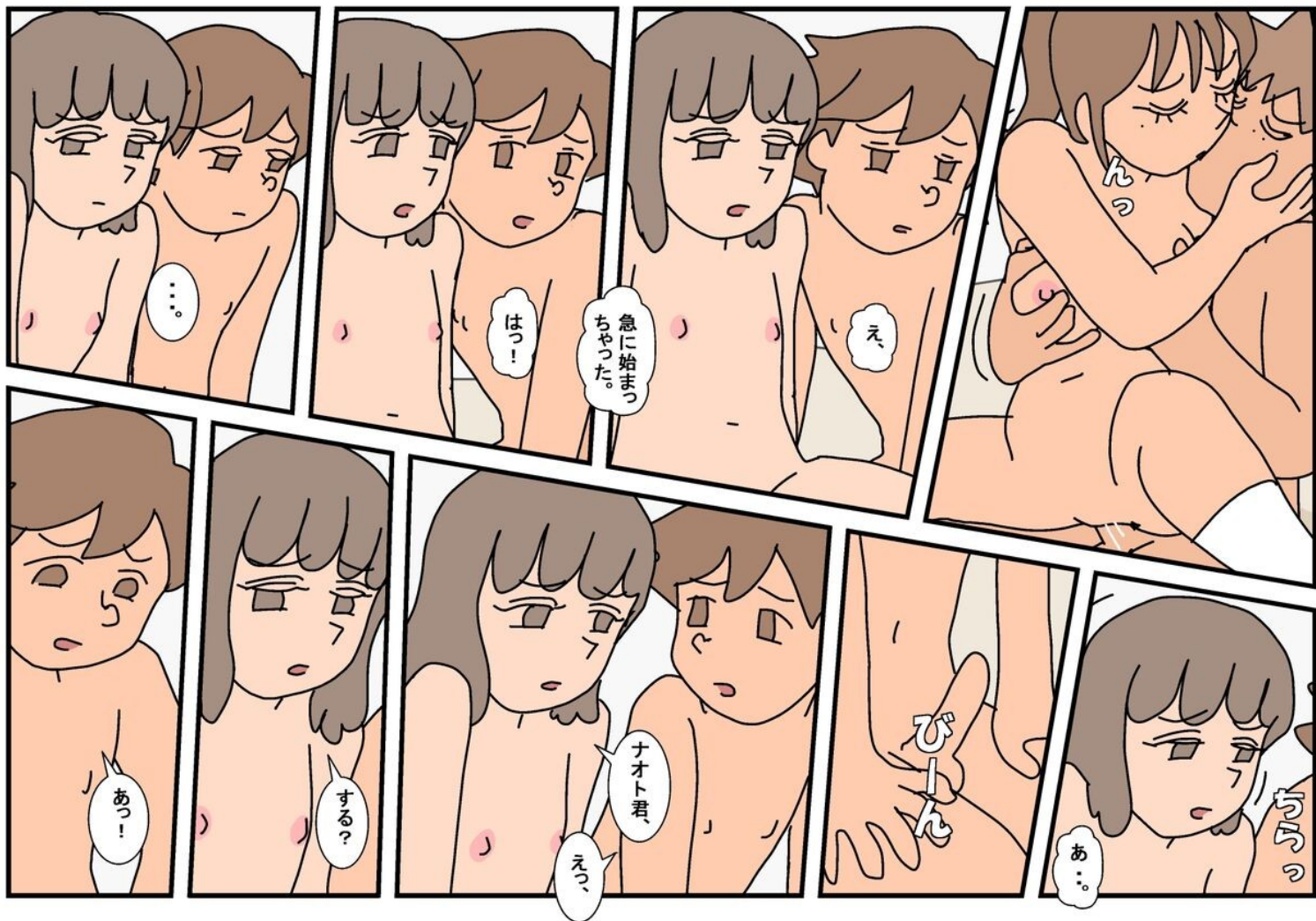














佐倉さん、

おチンチン

入れてほしいんだよ

え、

えっ。

あーん、  
ナオト君

そうじゃ、  
ないの。

れっ

えっ

えっ...

えっ



